

令和3年度 学校法人 薬師の杜学園 役員名簿

役職	氏名	学外者
理事長	志田 俊雄	
副理事長	高橋 淑秀	
副理事長	齊藤 隆道	○
理事	岸 満	○
理事	芦野 和子	○
理事	吉川 ゆき	○
理事	奥山 伸	
理事	志摩 静枝	○
理事	鈴木 啓司	○
理事	荒木 茂	
理事	佐藤 修	○
理事	高橋 朝子	
監事	遠藤 正	○
監事	佐藤 辰也	○
監事	佐藤 節子	○

令和3年度 山形美容専門学校 美容科 授業時間数

昼間課程 2年（衛生専門課程）

教科科目	単位	時間	実務経験者が指導
必修科目			
関係法規・制度	1	30	
衛生管理	3	90	
保健	3	90	
香粧品化学	2	60	
文化論	2	60	○
美容技術理論	5	150	○
運営管理	1	30	
美容実習	30	900	○
計	47	1,410	
選択科目			
芸術	2	60	○
社会・福祉	2	60	○
メイクアップ	3	90	○
エステティック	1	30	○
ネイル	1	30	○
着付	1	30	○
総合技術	10	300	○
計	20	600	
合計	67	2,010	
実務経験者による授業時間合計	57	1,710	

成績の分布状況

○令和2年度

客観的な指標の算出方法						
履修課目の成績評価を点数化し、全科目の合計点の平均を算出する (100点満点で点数化)						
学科名:美容科		学年:1年		学生数:58人		
成績の分布						
指標の数値	~50点	50 ~60点	60 ~70点	70 ~80点	80 ~90点	~100点
人数	0	1	2	13	35	7
下位1/4に該当する人数 14 人						
下位1/4に該当する指標の数値 78.5 点以下						

成績評価基準

判定	評価点	成績評価内容
合格	100~90点	到達目標を十分に達成し、非常にすぐれた成果をおさめている
	89~80点	到達目標を十分に達成している
	79~70点	到達目標を最低限達成している
不合格	69点以下	到達目標を達成していない

成績評価の基準・方法

■ 国家試験課題課目について

- ・関係法規・制度
- ・衛生管理
- ・保健
- ・化粧品化学
- ・文化論
- ・美容技術理論
- ・運営管理
- ・美容実習

[評価の基準・方法]

目標達成状況を学期ごとに試験をし、100点満点で点数化する。
在学中確実に国家試験取得を目指す為、1年生70点以上、2年生は80点以上を合格ラインとする。

■ その他の課目

- ・芸術
- ・社会・福祉
- ・メイクアップ
- ・エステティック
- ・ネイル
- ・着付
- ・美容総合技術

[評価の基準・方法]

履修状況、授業への取り組み、作品やレポート等の提出状況を総合的に判断し100点満点で点数化し評価する。

[令和3年度] 授 業 計 画

教科科目：関係法規〔授業方法 講義〕		担当講師：佐藤 善則	学年：1年
法定時数：30時間		予 定 時：27時間（2年・5時間の予定）	実施時間：
到達目標		美容師法に関する理解を深め、美容師国家試験合格を目標とする。	
学期	時数	項目	内 容
1 学期	10	授業概要の説明	講義の進め方 法令の読み方等
		第1章 第1節	社会生活における法の役割
		第2節	法の形式
		第3節	衛生法規の概要
		まとめ	小試験・解説
		第2章 第1節	衛生行政の意義と歴史
		第2節	衛生行政分類と生活衛生行政
		第3節	衛生行政を担う行政機関
			保健所の役割 1学期のまとめ
		試験 解説	1学期試験の解説
2 学期	10	第3章 第1・2節	美容師法の目的と定義
		第3節	美容師法(養成施設)
			美容師法(美容師試験・美容師名簿登録)
			美容師法(美容師/講ずべき衛生措置)
			美容師法(美容師/免許証の変更手続き)
		まとめ	小試験・解説
		第4節	美容師法(美容師/不利益処分)
			美容師法(美容師/管理美容師)
			美容師法(美容所/美容所の解説)」
		試験 解説	2学期試験の解説
3 学期	7	第3章 第4節	美容師法(美容所/講ずべき衛生措置)」
			美容師法(美容所/出張美容)
		第5節	美容師法(立ち入り検査等)
		第6節	美容師法(違反者の行政処分)
		第7節	美容師法(罰 則)
		第4章	関連法規(美容業の運営に関する法律等)
		試験 解説	3学期試験の解説

[令和3年度] 授 業 計 画

教科科目：関係法規〔授業方法 講義〕		担当講師：佐藤 善則	学年：2年
法定時数：30時間		予 定 時：5時間	実施時間：
到達目標		美容師法に関する理解を深め、美容師国家試験合格を目標とする。	
学期	時数	項目	内 容
3 学 期	5	教科書のまとめ	重要項目等の説明
		過去問題の演習	第38・39回美容師試験問題の演習と解説
		過去問題の演習	第40・41回美容師試験問題の演習と解説
		試験対策	美容師試験の出題傾向と対策
		卒業試験の解説	卒業試験・重点項目の解説

[令和3年度] 授 業 計 画

教科科目：衛生管理〔授業方法 講義〕		担当講師：大谷 勝実		学年：1年
法定時数：90時間		予定時数：45時間(2年次 45h)		実施時間：時間
到達目標		美容師として必要な公衆衛生・環境衛生、感染症に関する基礎的な知識を習得する。		
学期	時数	項目	内 容	
1 学 期	15	公衆衛生の概要	公衆衛生の意義と課題	
		〃	公衆衛生発展の歴史	
		〃	消毒法の歴史	
		〃	美容師と公衆衛生	
		〃	保健所と美容業	
		保 健	母子保健	
		〃	成人・高齢者保健	
		〃	精神保健	
		環境衛生	環境衛生の概要	
		〃	空気環境(空気と健康、温度・湿度・気流と健康)	
		〃	期末試験解説	
2 学 期	18	環境衛生	衣服・住居の衛生	
		〃	上・下水道と廃棄物	
		〃	衛生害虫とネズミ、環境保全	
		感染症総論	人と感染症(感染症発見の歴史・感染症と法律)	
		〃	人と感染症(感染症の分類)	
		〃	病原微生物(微生物の種類、形と大きさ)	
		〃	病原微生物(微生物の構造)	
		〃	病原微生物(微生物の増殖と環境の影響)	
		〃	感染症の予防(微生物の病原性と人体の感受性)	
		〃	感染症の予防(汚染、感染および発病)	
		〃	感染症の予防(常在細菌叢、免疫と予防接種)	
		〃	感染症の予防(感染症発生の要因)	
		〃	感染症予防の3原則	
〃	期末試験解説			
3 学 期	12	感染症各論	美容と感染症	
		〃	空気・飛沫を介して感染する感染症1	
		〃	空気・飛沫を介して感染する感染症2	
		〃	飲食物を介して感染する感染症	
		〃	血液を介して感染する感染症	
		〃	動物・節足動物を介して感染する感染症	
		〃	具体的な対策の例	
		〃	学年末試験解説	

[令和3年度] 授 業 計 画

教科科目：衛生管理〔授業方法 講義〕		担当講師：荒木 茂	学年：2年		
法定時数：90時間		予定時数：45時間（1年次：45時間）	実施時間：時間		
到達目標		1 衛生管理技術の習得 2 理容所及び美容所における衛生管理要領の習得			
学期	時数	項 目	内 容		
1 学 期	15	消毒法総論	消毒とは、消毒の意義		
		〃	美容の業務と消毒との関係		
		〃	消毒法と適用上の注意		
		消毒法各論	理学的消毒法（紫外線消毒）		
		〃	理学的消毒法（煮沸消毒）		
		〃	理学的消毒法（蒸気消毒）		
		〃	化学的消毒法（アルコール消毒）		
		〃	化学的消毒法（次亜塩素酸ナトリウム消毒）		
		〃	化学的消毒法（界面活性剤消毒）		
		〃	化学的消毒法（グルコン酸クロルヘキシジン消毒）		
		〃	化学的消毒法（その他の消毒薬）		
				1学期学習まとめ	
				1学期末試験解説	
2 学 期	20	消毒法各論	すぐれた消毒法とその実施上の注意		
		消毒法実習	消毒薬の概要		
		〃	器具の使い方、消毒薬と希釈液の濃度		
		〃	消毒薬希釈法		
		〃	消毒薬水溶液の作り方（実習）		
		〃	美容所における消毒の原則、消毒設備		
		〃	美容器具類の消毒法		
		〃	美容師の手指の消毒		
		〃	その他のものの消毒、美容所の消毒の現状		
		〃	美容所の清潔法の実際		
				衛生管理の実践例	理容所及び美容所における衛生管理要領
				〃	美容所の自主管理点検表
				2学期学習まとめ	
		2学期末試験解説			
3 学 期	10	学習総まとめ	練習問題、ワークブック、過去の問題を学習		
		卒業試験解説			
		〃			

[令和3年度] 授 業 計 画

教科科目：保健〔授業方法 講義〕		担当講師 安達純子	学年：2年
法定時数：90時間		予 定 時：45時間(1年次:45時間)	実施時間：
到達目標		国家試験合格を目指し皮膚とその付属器官について学び、健康管理ができる知識を得て特に皮膚や毛髪に関する深い理解を深めさせる	
学期	時数	項 目	内 容
1 学 期	15	第3章皮膚の循環器系と神経系	1項皮膚の血管、2項皮膚のリンパ管、3項皮膚の神経
		第4章皮膚と皮膚付属器官の生理機能	1項対外保護作用、2項体温調節作用、3項知覚作用皮膚反応
			4項分泌排泄機能、5項呼吸作用、6項吸収作用、7項貯蔵作用
			8項免疫・解毒・排除作用、9項再生作用
			10項毛のはたらき、11項爪のはたらき
			第4章 確認問題と解説
		第5章皮膚と皮膚の付属機関の保	1項皮膚と全身状態、2項皮膚と精神、3項皮膚と栄養、4項皮膚とし好品
			5項皮膚と体内病変6項皮膚の水分と脂の状態7項皮膚・付属機関とホルモン
			8項皮膚の保護と手入れ、9項毛の保護と手入れ、10項爪の保護と手入れ、11項子どものおしゃれトラブル
			第5章 確認問題と解説
	第3,4,5章の復習		
2 学 期	20	第6章皮膚と皮膚の付属器官の疾	1項 皮膚の異常とその種類
			2項皮膚疾患の原因、3項皮膚疾患の治療法
			4項 皮膚炎と湿疹・蕁麻疹・薬疹
			5項 口唇の疾患、6項 温熱・寒冷による皮膚障害
			7項 角化異常による皮膚疾患、8項 色素異常による皮膚疾患
			9項 血管腫、10項 脂腺母斑、11項 下肢静脈瘤
			12項 分泌異常、13項 化膿菌、14項 ウイルス、15項 真菌
			16項 衛生害虫、17項 感染症の皮膚疾患の予防
			18項 毛と爪の疾患、19項皮膚の腫瘍
			第6章 確認問題と解説
			【人体の構造及び機能】重要ポイントまとめ①～②
			【人体の構造及び機能】重要ポイントまとめ③～④
			【人体の構造及び機能】重要ポイントまとめ⑤～⑥
			【人体の構造及び機能】重要ポイントまとめ⑦～⑧
			【皮膚科学】重要ポイントまとめ①～②
			【皮膚科学】重要ポイントまとめ③～④
	【皮膚科学】重要ポイントまとめ⑤～⑥		
3 学 期	10	受験対策	国家試験対策 過去問題と解説①
			国家試験対策 過去問題と解説②
			国家試験対策 過去問題と解説③
			国家試験対策 過去問題と解説④
			国家試験対策 過去問題と解説⑤
			国家試験対策 過去問題と解説⑥

[令和3年度]

授 業 計 画

教科科目：保健(皮膚)[授業方法 講義]		担当講師：鈴木 孝子	学年：1年
法定時数：90時間（45時間）		予 定 時：45時間（2年次45時間）	実施時間：
到達目標		<ul style="list-style-type: none"> ・皮膚の構造と生理がわかる。 ・皮膚と皮膚付属器官の疾患と基本的な対処がわかる。 	
学期	時数	項 目	内 容
1 学 期	15	はじめに	オリエンテーション 学習目的
		第1章 皮膚の構造	1 皮膚の表面 2 皮膚の断面 3 表皮
			4 表皮と真皮の境 5 真皮 6 皮下組織 7 皮膚の部位差
		第2章 皮膚付属器官の構造	1 毛 毛の構造 1-1毛の構造
			-2毛の型と毛の成長周期 -3毛の型の変化
			4毛の成長 -5毛の性状 -6立毛筋
			2 脂腺 3 汗腺① 4 爪 1学期期末試験 解答・解説
2 学 期	18	第3章 皮膚の循環器系と神経系	1 皮膚の血管 2 皮膚リンパ管
			3 皮膚の神経
		第4章 皮膚と皮膚付属器官の生理機能	1 対外保護作用
			2 体温調節作用 3 知覚作用と皮膚反射
			4 分泌排泄作用(1皮脂の分泌 2皮脂の生理作用)
			4 分泌排泄作用(3汗の分泌)
			5 呼吸作用 6 吸収作用 7 貯蔵作用
			8 免疫・解毒・排除作用 9 再生作用
			10 毛のはたらき 11 爪のはたらき
		第5章 皮膚と皮膚付属器官の保健	1 皮膚と全身状態 2 皮膚と精神
			3 皮膚と栄養 4 皮膚と嗜好品 5 皮膚と体内病変
			6 皮膚の水分と脂の状態 -1しわ
			6-2乾皮 -3あぶら性 -4敏感肌
	7 皮膚・付属器官とホルモン -1皮膚とホルモン -2 脂腺とホルモン -3 毛とホルモン		
	8 皮膚の保護と手入れ -1皮膚の保健 -2皮膚の手入れ -3ひげそりあと -4ふけ症		
	-5汗 -6紫外線 -7皮膚表面 -8皮膚の色 -9硬い皮膚		
	9 毛の保護と手入れ		
	10 爪の保護と手入れ 11 子どものおしゃれ 2学期期末試験 解答と解説		
3 学 期	12	第6章 皮膚と皮膚付属器官の疾患	1 皮膚の異常とその種類 2 皮膚疾患の原因
			3 皮膚疾患の治療法 4 皮膚炎と湿疹・蕁麻疹・薬疹
			4-1接触皮膚炎
			4 -2日光皮膚炎 -3小児湿疹 -4アトピー性皮膚炎 -5脂漏性皮膚炎 -6尋常性乾癬 -7ウィダール苔癬 -8蕁麻疹
			5 口腔疾患 6 温熱・寒冷による皮膚障害 7 角化異常
			8 色素異常による皮膚疾患 9 血管腫 10 脂腺母斑
			11 下肢静脈瘤 12 分泌異常による皮膚疾患
			13 化膿菌 14 ウイルス 15 真菌 16 衛生害虫 17 感染症
			18 毛と爪の疾患 19 皮膚の腫瘍 3学期期末試験 解答と解説

[令和3年度] 授 業 計 画

教科科目：香粧品化学〔授業方法 講義〕		担当講師：齋藤 明子	学年：1年
法定時数：60時間		予 定 時：30時間	実施時間：
到達目標		香粧品の性状や使用目的を学び、どのような原料が配合されているか、製品の安定性も含めた安全性についても理解させる。	
学期	時数	項目	内 容
1 学期	10	1章 香粧品概論	1節 香粧品の社会的意義と品質特性
		〃	2節 香粧品の定義、製造販売の規制、表示・広告の規制
		〃	3節 香粧品と安全性、表示成分と安全性、トラブル
		〃	3節 香粧品の安定性、経時変化、取り扱い上の注意
		〃	頭皮や毛髪健康状態、爪の性状
		2章 香粧品用原料	2節 水性原料 水、エタノール
		〃	3節 油性原料 油脂、ロウ、炭化水素
		〃	4節 界面活性剤の性質
		〃	1学期復習、テスト対策
		〃	テスト解説
2 学期	12	2章 香粧品用原料	4節 界面活性剤の種類
		〃	界面活性剤の香粧品への応用
		〃	5節 高分子化合物
		〃	6節 色材 無機顔料
		〃	有機合成色素(タール色素)
		〃	光輝性顔料、天然色素
		〃	7節 香料の種類
		〃	8節 その他の特殊成分
		〃	香粧品原料の品質保持に用いられる配合成分
		〃	香粧品配合成分があたえる機能
		〃	2学期まとめ、テスト対策
		〃	テスト解説
3 学期	8	2章 香粧品用原料	9節 ネイル、まつ毛エクステンション用材料
		3章 基礎香粧品	1節 皮膚清浄用香粧品
		〃	2節 化粧水
		〃	3節 クリーム、乳液
		〃	4節 その他の基礎香粧品
		〃	打粉類、パック剤
		〃	3学期まとめ、テスト対策
		〃	テスト解説

[令和3年度] 授 業 計 画

教科科目：香粧品化学〔授業方法 講義〕		担当講師：齋藤 明子	学年：2年				
法定時数：60時間(30時間)		予 定 時：31時間	実施時間：				
到達目標	1 美容の業務で使用する香粧品について安全かつ適正に行えるよう成分、作用原理、使用上の注意について理解させる 2 香粧品化学について美容師の国家試験に合格する知識を習得させる						
学期	時数	項目	内 容				
1 学 期	11	4章メイクアップ用香粧品	1節 メイクアップ用香粧品の種類と剤形 2節 1 おしろい類 2 ファンデーション類 3節 ホイットメイクアップ用香粧品 1 紅類 2 アイメイクアップ香粧品 3 ネイル技術用香粧品類				
		5章頭皮・毛髪用香粧品	1節 1 シャンプー剤 2 ヘアリンズ剤 3 ヘアトリートメント剤 2節 スタイルング剤 1機能 2 油性スタイルング剤 3 液状スタイルング剤 4 高分子物質を基剤とするスタイルング剤 ①セットローション ②ジェル ③ヘアミスト ④エアゾールタイプ				
		1学期のまとめ					
		1学期試験解説					
		2 学 期	14		3節 パーマ剤 1 パーマの原理 2 パーマ剤の分類 3 パーマ剤第1剤 4 パーマ剤第2剤 5 使用上の注意 4節 ヘアカラー製品 1種類と染毛メカニズム 2一時染毛料 3 半永久染毛料 4 脱色剤・脱染剤 ①脱色剤 ② 脱染剤 5 永久染毛剤 ①酸化染毛剤 ①酸化染毛剤 ②酸化染毛剤と皮膚アレルギー試験 6 使用上の注意 7 その他のヘアカラー製品 5節 育毛剤		
				6章芳香製品と特殊香粧品	1節 芳香製品 1 香水 2 オーデオロン 3 その他 4 効用と使用上の注意 2節 特殊香粧品 1 サンケア製品 2 美白用香粧品 3 制汗・防臭剤 4 ニキビ用香粧品		
				2学期のまとめ・解説			
				3 学 期	6	国家試験対策	問題演習1
							問題演習2
							問題演習3
	問題演習4						
卒業試験解説							

[令和3年度] 授 業 計 画

教科科目：文化論〔授業方法 講義〕		担当講師：小林 さとみ		学年：1年	
法定時数：60時間		予 定 時：22時間		実施時間：22時間	
実務経験者による授業 ○					
授業内容		さまざまな髪型、化粧、服装の変遷流行を学びます			
到達目標		風俗と時代背景とのつながりを読み解くことで、流行のメカニズムを知り、時代とファッションの関わりを知る			
学期	時数	項目	内 容		
1 学期	10	第1章 総論	理容・美容の語源	p6～	
		第4章	古代エジプト	p108～	
		〃	古代ギリシャ・ローマ	p110～	
		〃	古代ゲルマン・中世ヨーロッパ	p113～	
		〃	中世ヨーロッパ・近世Ⅰ(16世紀)	p118～	
		〃	近世Ⅱ(17世紀)	p124～	
		〃	近世Ⅲ(18世紀)	p128～	
		〃	近代Ⅰ・Ⅱ(18世紀末～19世紀)	p134～	
				まとめ	
				期末試験解説	
2 学期	12	第4章	現代Ⅰ(1910～1920)	p139～	
		〃	現代Ⅱ(1930～1940)	p143～	
		〃	現代Ⅲ(1940～1950)	p145～	
		〃	現代Ⅳ(1960)	p149～	
		〃	現代Ⅴ(1970)	p153～	
		〃	現代Ⅵ(1980)	p158～	
		〃	現代Ⅶ(1990～2010)	p161～	
				まとめ	
		第5章	和装の礼装	p164～	
		〃	洋装の礼装	p168～	
				まとめ	
				期末試験解説	

[令和3年度] 授 業 計 画

教科科目：文化論〔授業方法 講義〕		担当講師：五十嵐 静香	学年：1年
法定時数：60時間		予 定 時：8時間	実施時間：
実務経験者による授業 ○			
授業内容		ブライダル業務経験による日本髪・化粧・着物等の詳細授業	
到達目標		理容業・美容業の発生を知る 髪型・化粧・服装の歴史を知る	
学期	時数	項目	内 容
3 学 期	8	第1章 総論	
		第2章 第1.2節	美容業の発生・江戸時代の美容業
		第2章 第3節	近代の美容業
		第2章 第4節	現代の美容業
		第3章 第1節	縄文・弥生・古墳(髪型・化粧・服装)
		第3章 第2節	古代(飛鳥・奈良・平安)(髪型・化粧)
			学年末試験対策
			学年末試験解答解説

[令和3年度] 授 業 計 画

教科科目：文化論〔授業方法 講義〕		担当講師：五十嵐 静香		学年：2年	
法定時数：60時間		予 定 時：30時間		実施時間：	
実務経験者による授業 ○					
授業内容		ブライダル業務経験による日本髪・化粧・着物等の詳細授業			
到達目標		髪型・化粧・服装の歴史を知る。国家試験対策をし、理解を深める。			
学期	時数	項目	内 容		
1 学期	11	第3章 第2節	古代(飛鳥・奈良・平安)		
		第3章 第3節	中世(平安末・鎌倉・室町・戦国)		
		第3章 第4節	近世(戦国末・安土桃山)		
		第3章 第5節	近世Ⅱ(江戸)(髪型)		
			1学期期末試験対策		
			1学期期末試験解答解説		
2 学期	14	第3章 第5節	近世Ⅱ(江戸)		
		第3章 第6節	近代(明治・大正・昭和20年まで)		
		第3章 第7節	現代Ⅰ(1945年～1950年代)		
		第3章 第7節	現代Ⅰ(1945年～1950年代)		
		第3章 第8節	現代Ⅱ(1960年代～1970年代)		
		第3章 第9節	現代Ⅲ(1980年代～1990年代)		
		第3章 第10節	現代Ⅳ(2000年代以降)		
			2学期末試験対策		
			2学期末試験解答解説		
3 学期	5	第3章 第6節	近代(明治・大正・昭和20年まで)復習		
		第3章 第7節	現代Ⅰ(1945年～1950年代)復習		
		第3章 第8・9・10節	現代Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ復習		
			国試対策 模擬試験1		
			国試対策 模擬試験2		
			卒業試験解答解説		

[令和3年度] 授 業 計 画

教科科目：美容理論		授業方法 講義		学年：1年
法定時数：150時間		予 定 時：50 時間（2年次・100時間）		実施時間：
実務経験者による授業 ○		担当講師：小林、安達、沖山、三井寺		
授業内容		美容室でスタイリストとして勤務した経験を活かし、実務的な事例を含めた理論を学ぶ		
到達目標		理論に基づいた美容技術を習得する		
学期	時数	項目	内 容	
1 学 期	18	美容理論概論	美容理論と美容技術～	
		美容用具	美容技術における用具～	
		メイクアップ	概論、スキンケア～ポイントメイク	
		〃	色彩、皮膚の構造、形態学、模擬問題	
		シャンプーイング	シャンプーイング総論、サイドシャンプー、バックシャンプー	
		解答	解説	
2 学 期	20	エステティック	概論、カウンセリング	
		〃	フェイシャルケア技術、フェイシャルパック	
		日本髪	日本髪の名称、種類と特徴	
		〃	日本髪の調和、結髪道具、技術	
		ヘアセッティング	ヘアセッティングとは～ヘアカーリング	
3 学 期	12	ネイル技術	爪の構造と機能～	
		〃	ネイル3級対策	
		着付	着物各部の名称、着付の一般的要領	
		〃	黒留袖、振袖	
		まつ毛エクステンション	衛生及び保健～	

[令和3年度] 授 業 計 画

教科科目：美容理論		授業方法 講義		学年：2年	
法定時数：150時間		予 定 時：100時間（1年次・50時間済）			
実務経験者による授業 ○		担当講師：新田、五十嵐、茂木、土屋。			
授業内容		実務経験を活かし、美容の基礎的な理論と技術を筋道を立てて説明する			
到達目標		理論を学びながら技術を導き、技術を学びながら理論の正しさを知る			
学期	時数	項目	内 容		
1 学 期	23	着付の理論と技術	振袖着付技術/男子礼装羽織袴/婚礼着付の際の注意事項		
		〃	和装花嫁/洋装花嫁		
		ヘアカッティング	ヘアカッティングとは/シザーズとレザーの扱い方/美容刃物		
		〃	ヘアカッティングの正しい姿勢/ブロッキング/基礎理論		
		〃	ベーシックなカット技法/シザーズによるカット技法/レザーによるカット技法		
		ヘアデザイン	美容とデザイン		
2 学 期	27	パーマネットウェービング	パーマネットウェーブの歴史と現在/パーマネットウェーブの理論		
		〃	パーマ材の分類/パーマ材に関する注意事項/パーマネットウェーブ技術		
		〃	ワインディングのバリエーション/縮毛矯正		
		ヘアカラーリング	ヘアカラーリング概論/ヘアカラーの種類/ヘアカラーのタイプ別特徴		
		〃	染毛のメカニズム/色の基本/毛髪のレベルとアンダー・トーン		
		〃	パッチテスト/染毛剤使用時の注意事項/ヘアカラーリングの道具		
3 学 期	50	国試対策	プリント復習問題		

[令和3年度] 授 業 計 画

教科科目： 運営管理〔授業方法 講義〕		担当講師： 沖山 ゆき枝	
法定時数： 30時間		予 定 時： 30時間	
到達目標		美容師の提供するサービスとサービスを介しての顧客との関係性を理解でき、状況に応じたサービス計画を作成実行できる。会社の就業環境改善と労働生産性向上には、同僚従業員と協働して顧客満足を実現することの重要性を理解でき、かつ所定労働時間内で高度なサービス提供実現に向けた業務改善の意味を理解できること。	
学期	時数	項目	内 容
1 学 期	11	経営者の視点から	経営が必要とされる理由、経営資源と経営計画、経営戦略、経営戦略が目指すもの、顧客に選ばれるよい店の実現
		理容業・美容業の経営環境	理容・美容業界の現状、競争の変化、サービスは経験の提供、顧客が決めるサービス、理容・美容の顧客の特徴
		資金管理	資金管理とは、会計の活用、利益の仕組み、コストの仕組み、コスト削減をするために、税金の種類とその内容、税金を支払うタイミング
		人という資源、人の能力を高める	美容業における人という資源の特徴、労務管理の目指すもの、採用について、従業員のトレーニング
		人をやる気にさせるために、給与・待遇・福利厚生	トレーニングと資格制度、やる気とは何か、やる気を高める、給与の役割、給与の設計、評価・待遇、福利厚生、休暇
		労働者の権利、健康安全な職場環境の実現	働く者の権利、適正な労使関係の構築、新しい問題への対応、健康管理の基礎、理容・美容の仕事と健康、理容業・美容業に特徴的な健康問題
		理容・美容の仕事と健康	"
2 学 期	14	従業員としての視点から	社会人としての責任、理容・美容という仕事ゆえの責任、公的年金、医療保険、労働保険、キャリアプランの重要性、仕事をするうえで考えるべきこと
		年金保険、医療・介護保険	働く者の権利、適正な労使関係の構築、新しい問題への対応、健康管理の基礎、理容・美容の仕事と健康、理容業・美容業に特徴的な健康問題
		労働関係法規	"
		顧客が求める価値、価値の実態、顧客満足とシステム	サービス・デザインとは、サービス・デザインの要点、価値の構造、競争の現実、価値を実現するシステム、顧客満足とシステム
		最も重要な価値:人、価値の多様性、顧客が求めるもの	人の役割、最も目立つ価値、顧客が求めている価値、実現すべき価値は多種多様、サービスの範囲とは、サービスの範囲と経営
		サービス・デザイン	"
		理容業・美容業のマーケティング①	理容業・美容業のマーケティングの特徴、マーケティングの要点、マーケティング・ミックスの要点、システムとして働くということ、価値を保持するリーダーの役割
		理容業・美容業のマーケティング②	"
3 学 期	5	理容業・美容業の経営環境、経営戦略、資金管理	競争の変化、顧客が決めるサービス、理容・美容の顧客の特徴、資金管理とは、会計の活用、利益の仕組み、コストの仕組み、コスト削減をするために
		年金保険、医療・介護保険、労働関連法規、仕事と健康	セーフティネット公的年金、医療保険、労働保険、働く者の権利、適正な労使関係の構築、新しい問題への対応、健康管理の基礎、理容・美容の仕事と健康
		労働関係法規	働く者の権利、適正な労使関係の構築、新しい問題への対応、健康管理の基礎、理容・美容の仕事と健康、理容業・美容業に特徴的な健康問題

[令和3年度] 授 業 計 画

教科科目 : 美容 実習		授業方法 実習		学年 : 1年
法定時数 : 900 時間		予定時数 : 495時間 (2年次:405時間)		実施時間 : 時間
実務経験者による授業 ○		担当講師 : 小林、安達、沖山、三井寺.		
授業内容		美容師として勤務した経験を活かし、お客様とのコミュニケーションとお客様が満足できる技術の提供及び国家試験技術		
到達目標		美容の基本をしっかりと身につけ美容室に於いて即戦力として施術ができる基礎作りをする		
学期	時間	項目	内 容	
1 学 期	175	道具の使い方	道具渡し ウイッグの手入れと使用方法	
		ワインディング ①	センターブロッキング センターワインディング 十等分ブロッキング	
		編み込み	表・裏編み	
		ワインディング ②	国家試験ワインディング ブロッキング～アップとダウンテクニック	
		ブロー	ハーフラウンドブラシの使用方法	
		シャンプー	シャワーヘッドの持ち方と手順	
		ワインディング ③	定めた時間内に巻き収める	
		スタイリング	ハンドドライヤーとアイロンを使用して仕上げる	
		シャンプー	指先のテンションの使い方	
		浴衣スタイル	編み込みを使用した夏のスタイル作り	
		ネイル	ネイルケア	
		アップスタイル	編み込みを使用した夏のスタイル作り	
2 学 期	204	カット	ベーシックカット(ワンレングス、セიმレングス)	
		ワインディング	タイム20分で巻き上げる	
		オールウエーブ	カールの作り方(スカルプチュアカール、リフトカール、メイポールカール)	
		スタイリング	ハンドドライヤーとアイロンを使用して仕上げる	
		シャンプー・ブロー	ハンドドライヤーとアイロンを使用して仕上げる	
3 学 期	116	スタイリング	ハンドドライヤーとアイロンを使用して仕上げる	
		シャンプー・ブロー	ハンドドライヤーとアイロンを使用して仕上げる	
		ワインディング	時間内に巻き収める	
		オールウエーブ	フィンガーウエーブテクニック 国家試験課題 7段構成完成	

[令和3年度] 授 業 計 画

教科科目 : 美容 実習		授業方法 実習	学年 : 2年
法定時数 : 900 時間		予定時数 : 405時間 (1年次:495時間済)	実施時間 : 時間
実務経験者による授業 ○		担当講師 : 新田、五十嵐、茂木、土屋.	
授業内容		美容室でスタイリストとして勤務した経験を活かし、実務的な事例を含めた実習を行う	
到達目標		技術に関する専門的な基礎知識を身に付ける。国家試験課題に関しては合格基準に達するようになる。シャンプー等は相手の気持ちを考えられるような施術を目指す。	
学期	時間	項 目	内 容
1 学 期	145	ワインディング	相モデルでのサロン実務に向けたデザイン巻き
		〃	国家試験の合格基準に達するよう課題に取り組む
		〃	ウィッグでのデザインパーマ巻き
		オールウェーブ	国家試験課題 7段構成の配分を理解し時間内に完成
		シャンプー	相モデルでのシャンプー サイドシャンプー、リアシャンプーの手順
		まとめ髪	サロンで使えるアップスタイル
2 学 期	190	オールウェーブ	国家試験課題 7段構成の配分を理解し時間内に完成
		カット	国家試験課題 レイヤースタイル
		シャンプー&ブロー	就職先のシャンプースタイルに合わせた施術 モデルの髪質に応じたブロー
3 学 期	80	国家試験 第一課題	国家試験課題の合格基準に達するための訓練と、 衛生実技試験に対応した練習
		〃 第二課題	
		シャンプー	就職先のシャンプースタイルに合わせた施術 モデルの髪質に応じたブロー

[令和3年度] 授 業 計 画

教科科目： 芸術		担当講師： 小野 隆弘		学年： 1年	
授業内容： 演習		予 定 時： 22時間（1年次22時間済）		実施時間： 時間	
実務経験者による授業 ○					
授業内容		中学校で美術教師をしていた経験を生かして、テキストを使いながら色彩の様々な特性を指導する。 テキスト『やさしい色彩検定3級』を使いながら、色彩について学習する。			
到達目標		日常生活の中で、色彩の持つ様々な特性を目的に応じて活用できるようにし、色彩検定3級の合格を目指す。			
学期	時数	項目	内 容		
1 学 期	8	色を分類する	オリエンテーション, 色の三属性		
		色を分類する	純色・清色・中間色, 色立体の構造		
		色の名前	色の三属性を使った色の表示, トーン分類		
		色の名前	トーン記号による色の表示, 言葉による色の表示, 慣用色名		
		色の光	光・色の正体, 光が起こす現象		
		色の光	眼のしくみ, 構造と働き, 網膜		
		色の光	色の視覚的効果や現象, 照明と色の見え方		
		混色	混色の種類・応用		
		色の感じ方	様々な色の心理的な効果		
		色彩と構成	色相で考える配色		
2 学 期	14	色彩と構成	トーンで考える配色		
		色彩と構成	アクセント, セパレーション, グラデーション, リズム, …		
		色彩と生活	ファッションアイテム, カラーコーディネート		
		色彩と生活	インテリアのカラーコーディネート		
		色彩と生活	生活環境を理解する色彩		
		色彩検定に向けて1	過去の問題を解く, 質問		
		色彩検定に向けて2	過去の問題を解く, 質問		
		色彩検定に向けて3	過去の問題を解く, 質問		
		色彩検定に向けて4	過去の問題を解く, 質問		
		色の名前1	色相環・トーン分類図に配色カードを使って貼る操作活動		
		色の名前2	色相環・トーン分類図に配色カードを使って貼る操作活動		
色の名前3	色相環・トーン分類図に配色カードを使って貼る操作活動				

[令和3年度] 授 業 計 画

教科科目： 芸術		担当講師： 小野 隆弘		学年： 2年	
授業方法： 演習		予 定 時： 22時間（2年次 22時間）		実施時間： 時間	
実務経験者による授業 ○					
授業内容		中学校で美術の教員をしていた経験を生かして、人間の頭部を描くことで美的直感力や観察力を付けたい。自分の顔や友達の顔をよく観察して、特徴や美しさを考えながら鉛筆で表現する。			
到達目標		一人一人の絵画表現に対する苦手意識を克服し、人間の頭部やヘアスタイルの美しさを考えて鉛筆表現できるようにする。			
学期	時数	項目	内 容		
1 学 期	22	ヘアイラスト	オリエンテーション、テーマを考え構想を練る		
		ヘアイラスト	クロッキー帳に下書きを描く		
		ヘアイラスト	下がきをイラストレーションボードに写し取る		
		ヘアイラスト	イラストレーションボードに作品を描き進める		
		ヘアイラスト	イラストレーションボードに作品を描き進める		
		ヘアイラスト	イラストレーションボードに作品を描き進める		
		ヘアイラスト	イラストレーションボードに作品を描き進める		
		ヘアイラスト	イラストレーションボードに作品を完成する		

[令和2年度] 授 業 計 画

教科科目：芸術(音楽)	担当講師：根岸 玲那	学年：1年・2年
授業方法：演習	予 定 時：1年：2時間 2年：2時間	実施時間：
実務経験者による授業 ○		
授業内容	音楽での海外留学や長年ピアノの教室で色々な生徒に教えてきた経験を活かし、ジャズやクラシック等幅広いジャンルの音楽を伝え、学生の感性を養う。	
到達目標	山形美容専門学校の校歌を覚え、大きな声で歌う。	

1 年

学期	時数	項目	内 容
1 学 期	2	歌唱	校歌、パート分け
		歌唱	校歌、パート分け ジャズやクラシック等幅広いジャンルの音楽を鑑賞

2 年

2 学 期	2	歌唱	校歌、パート分け
		歌唱	校歌、パート分け ジャズやクラシック等幅広いジャンルの音楽を鑑賞

[令和3年度] 授 業 計 画

教科科目： 芸術	担当講師： 福田 真	学年： 1年、2年
授業方法： 演習	予 定 時： 1年：6時間 2年：4時間	実施時間： 時間

実務経験者による授業 ○

授業内容	美容室でもヘアメイク等を撮影し、SNS等を利用した集客も見込んでいる中、フォトグラファーの立場から知識や技術を伝える。
到達目標	SNS上での写真の役割を理解する。何を伝えたいかを考え作品(写真)をつくる。

2年生

学期	時数	項目	内 容
1 学 期	6	撮影について	レタッチのやり方
			ポーズ、アングル、光の捉え方について
			撮影デモンストレーション
			作品に対する評価、アドバイス

1年生

学期	時数	項目	内 容
2 学 期	4	撮影について	写真とは
			SNSでの写真の見せ方等

[令和3年度] 授 業 計 画

教科科目：カウンセリング		担当講師：丸山 芳浩	学年：1年
授業方法：講義、演習		予 定 時：13時間	実施時間：
実務経験者による授業 ○			
授業内容		カウンセリング技法を用いて人間関係作りの方法を学び、演習を通して身につける	
到達目標		相手の話を様々な観点から聞くことができ、人間関係がスムーズに構築できるようになる	
学期	時数	項目	内 容
2 学 期	13	カウンセリングとは	カウンセリングの基礎知識とリレーション作り
		受容	相手の話を傾聴し、共感的態度で接するやり方を学びます。
		エコー(1)	相手の言葉を繰り返し、鏡となって写し出します。
		エコー(2)	繰り返す際の問題とその実際を学びます。
		ロールプレイ(1)	サロンでの実例から、受容とエコーの練習をします。
		支 持(1)	相手の言葉を肯定的に返す。言い訳を言ってあげる技法
		支 持(2)	相手を具体的にほめ、承認する。
		質 問(1)	相手が聞いて欲しいことを質問するやり方を学びます。
		質 問(2)	実際に質問を使う練習をします。
		ロールプレイ(2)	支持と質問を用いた公開演習をします。
		ヘアカウンセリングの実際	GROW(成長)をキーワードとしたヘアカウンセリングの進め方
		ロールプレイ(3)	GROWの流れに沿ったヘアカウンセリングの演習をします。
		ヘアカウンセリング演習	総合的にまとめた公開演習をします。

[令和3年度] 授 業 計 画

教科科目 : カウンセリング		担当講師 : 丸山 芳浩	学年 : 2年
授業方法 : 講義、演習		予 定 時 : 12時間	実施時間 :
実務経験者による授業 ○			
授業内容		各種心理テストやワークを通して自分自身を客観的に知り、自分の特性を知る。	
到達目標		長所も短所も含めた自分のありのままを受け入れ、セルフイメージを豊かにする。	
学期	時数	項目	内 容
1 学 期	12	セルフイメージとは	自分を知る学びのオリエンテーション
		交流分析(1)	エゴグラムを通して自分や他者のタイプを知る
		交流分析(2)	多様なエゴグラムの分析を通し、自分自身を深く知る
		I'm OK. You're OK.	対人関係における4つの基本的構えを知り、選択する
		禁止令とその解除(1)	周囲から自分の内へ取り込んだ否定的評価のパターンを知る
		禁止令とその解除(2)	禁止令を解除し、自分に肯定的評価を与える方法を学ぶ
		セルフリフレーミング(1)	自分を別の視点から見えるようにする学び
		セルフリフレーミング(2)	自分の短所は隠された長所だと発見し、リフレーミングする演習
		ストロークの理論	自分のセルフイメージが作られてきた過程を学ぶ
		ストロークのトレーニング	セルフイメージを育てる方法と実践
		自己表現と私メッセージ	自分の本当の気持ちを知り、それを相手に伝える表現法を学ぶ
		自己表現トレーニング	自己開示度を確認し、その力を高める演習を行う

[令和3年度] 授 業 計 画

教科科目：手話		担当講師：齋藤 聡子		学年：1年
授業方法：講義・演習		予定時：13時間		実施時間：
実務経験者による授業 ○				
授業内容		厚生労働大臣認定の手話通訳士である講師が聴覚に障害のある方とのコミュニケーションの方法の多様性を指導する		
到達目標		聴覚障害者(耳の聞こえない人・聞こえにくい人)とのコミュニケーションの方法を理解し、美容室内での簡単な会話ができるようになる		
学期	時数	項目	内 容	
2 学 期	13		聴覚障害者(耳の聞こえない人・聞こえにくい人)とのコミュニケーションの方法を考え、実際に通じるか試してみることにより、コミュニケーションの難しさを知る	
			自己紹介(指文字) 手話コーラス①	
			自己紹介(手話) 手話コーラス②	
			家族の紹介 手話コーラス③	
			数字(お金について) 手話コーラス④	
			趣味の紹介・疑問の表し方 手話コーラス⑤	
			挨拶・食べ物・スポーツ 手話コーラス⑥	
			生年月日・職業 手話コーラス⑦	
			耳の聞こえの仕組み・曜日・時間経過・色 手話コーラス⑧	
			聴覚障害者マークについて・自己紹介(発表) 手話コーラス⑨	
			美容室での会話	
			美容室での会話(実践)	

[令和3年度] 授 業 計 画

教科科目：社会福祉		担当講師：相澤孝志		学年：1年	
授業方法：講義		予定時：18時間		実施時間：	
実務経験者による授業 ○					
授業内容		社会福祉施設での勤務経験や、知識を活かし美容との関係性やあり方を伝える			
到達目標		美容を通じて社会福祉の現状と問題点を理解する			
学期	時数	項目	内 容		
1 学 期	14	はじめに	なぜ社会福祉を学ぶのか。社会福祉の歴史		
		医療・所得保障	社会福祉を学ぶ意義・福祉美容の紹介		
		現代社会と社会福祉	私達の生活問題・身体障害について		
		障害者福祉	今までの枠に当てはまらない障害		
		障害者福祉	こころの病		
		高齢者福祉	高齢者の病気①・車椅子体験		
2 学 期	4	社会福祉	ボランティアについて・高齢者の病気②		

[令和3年度] 授 業 計 画			
教科科目 :メイク		授業方法 実習	
学年 : 1年			
予定時数 :50 時間(2年40時間予定)		実施時間 : 時間	
実務経験者による授業 ○		担当講師 : 小林、安達、沖山、三井寺	
授業内容		さまざまなお客様を施術した経験から、実務的な事例を含めた実習を行う	
到達目標		基本的なメイクの知識を身につけ、モデルにあったフルメイクを完成させる。	
学期	時数	項目	内 容
1 学 期	50	メイク	メイクの概論 スキンケア ベースメイク ポイントメイク
			フルメイクチェック
			日本メイクアップ連盟 3級検定対策

[令和3年度] 授 業 計 画			
教科科目 :メイク		授業方法 実習	
学年 : 2年			
予定時数 :30 時間(1年次・60時間済)		実施時間 :24 時間	
実務経験者による授業 ○		担当講師 : 新田、五十嵐、茂木、土屋	
授業内容		美容室でのショーや撮影の経験を伝えながら、学生達の想像力を活かした作品作りに取り組む	
到達目標		目的に合った顔づくり、どんなニーズにも対応できるメイクを目指す	
学期	時数	項目	内 容
1 学期	21	メイク	メイク3級対策 スキンケア、ベースメイク、ポイントメイク
2 学期	9	メイク	舞台メイク 宝塚メイク 傷メイク等 美容室での撮影やヘアショーを意識したメイク

[令和3年度] 授 業 計 画

教科科目 : エステ		授業方法 実習		学年 : 1年
予 定 時 : 30時間 (1年30時間済)			実施時間 : 時間	
実務経験者による授業 ○		担当講師 : 小林、安達、沖山		
授業内容		美容室でのエステに携わった経験を活かし、お客様に対し気配りをもって接し、人の心に満足感をあたえられるよう心構えや基礎技術を指導する		
到達目標		基礎技術やエステティシャンとしての意識、常識を身に付ける		
学期	時数	項目	内 容	
3 学 期	30	エステ	エステ概論、ハンドクレンジング、拭き取り	
		エステ	ハンドクレンジング、拭き取り、ハンドマッサージ、マスク	

[令和3年度] 授 業 計 画

教科科目 : ネイル		授業方法 実習	学年 : 1年
予 定 時 数 : 30 時間			実施時間 : 時間
実務経験者による授業 ○		担当講師 : 小林、安達、沖山	
授業内容	美容室で技術者として営業した経験を活かし、実務的な事例や検定試験を目指した実習を		
到達目標	ネイルケアの基本的な知識と技術を修得し、検定試験も取得できる技術を身に付ける。		
学期	時数	項目	内 容
2 学 期	30	ジェルネイル	材料と道具の使い方、ジェルの塗布手順
		ジェルネイル	ジェルネイル初級取得についての手順や仕上がり ハンドケア、カラーリング、ピーコックアート、仕上げ
		ネイルケア	爪の名称やケアの必要性 ファイルのかけ方、ニッパーの使い方等
		ネイル検定	ネイル3級取得についての手順や仕上がり ハンドケア、カラーリング、フラワーアート、仕上げ
		ネイル検定	ネイル3級取得についての手順や仕上がり ハンドケア、カラーリング、フラワーアート、仕上げ

[令和3年度] 授 業 計 画

教科科目：着付		授業方法 実習	学年：1年
予定時数：30時間			実施時間：時間
実務経験者による授業 ○		担当講師：小林、安達、沖山、三井寺	
授業内容	美容室で多くのお客様の着付に携わった経験を活かし、日本の伝統である着物の良さを伝え、基本から場合に合わせた対応まで幅広い実習を行う		
到達目標	留袖の着付を通し、着付の道具の使い方等の基本を理解し、体型に合ったボディー作りから着付、帯結びまでを修得する。		
学期	時数	項目	内 容
3 学 期	30	着付につて	道具の説明、使い方 着物の名称 着物のたたみ方
		留袖着付	ボディー作り 長襦袢の着せ方 留袖の着せ方 二重太鼓の結び方

[令和3年度] 授 業 計 画

教科科目 : 総合技術		授業方法 実習		学年 : 1年	
予 定 時 数 : 60 時間					
実務経験者による授業 ○		担当講師 : 小林、安達、沖山、三井寺			
授業内容		トータル美容で美容師として経験した技術を生かし、総合的な授業の実践			
到達目標		ブロー、アイロンワーク、まとめ髪の技術の基本を学び、スタイルを作り上げる。 ヘアカラーの技術のベースとなる手順や塗布技術の基礎をしっかりと身に付ける。			
学期	時数	項目	内 容		
2 学 期	45	スタイリング	ハンドドライヤーとブラシを用いたブローによるボリュームの強弱を習得する。 アイロンワークの実践		
		ヘアカラー	ウイッグを使ったおしゃれ染め、白髪染め、ハイライト		
3 学 期	15	ジェルネイル	ジェル初級検定に向けて ネイルケア、ジェルネイル塗り方、ピーコックアート		
		まとめ髪	留袖に合うまとめ髪スタイルを相モデルを通し、互いにデザインを作り上げる。		

[令和3年度] 授 業 計 画

教科科目 : 総合技術		授業方法 実習		学年 : 2年	
予 定 時 数 : 40 時間 (1年次・60時間済)				実施時間 : 時間	
実務経験者による授業 ○			担当講師 : 新田、五十嵐、茂木、土屋		
授業内容		美容室勤務でスタイリストとしてヘアショーや撮影をしてきた経験を活かし授業する。 シャンプーはお客様の立場にたった施術をする。			
到達目標		想像力を高め、人に見せて感動を与えられる作品をつくる。			
学期	時数	項目	内 容		
2 学 期	30	学園祭	ヘアショーでの各ステージに応じたヘアメイク等		
		トータルファッション	モデル合ったヘアスタイル、メイクを考えてトータルで仕上げる		

[令和3年度] 授 業 計 画

教科科目：総合技術		授業方法 実習	学年：2年
ヘアデザインコース		予 定 時：100 時間	実施時間：
実務経験者による授業		担当講師：茂木・土屋	
授業内容	様々なスタイルを作っていくために欠かせない、ベーシックカットの基礎知識と基礎技術を学ぶ。		
到達目標	ベーシックスタイルを学び、基礎的な技術を身につける。		
学期	時数	項目	内 容
1 学 期	100	ワンレングス	ワンレングス展開図
		(15時間)	フラット(すべて同じ長さ) ① +20cm ②台座 前上がり ①みつえり～サイド 前下がり ①みつえり～サイド ブロー ①デンマン ②ロールブラシ
		グラデーション	グラデーション展開図
		(12時間)	①縦スライス ②横スライス ブロー
		レイヤー	レイヤー展開図
		(12時間)	①シャギー風レイヤー ②セイムレングス ブロー
		メンズ	サロンスタイル
		(14時間)	刈上げ2パターン ツイストパーマ
		応用	コピースタイル等(9時間)
		(36時間)	ゲストサロンセミナー(9時間) 相モデル撮影 作品作り(18時間)
		テスト	
		(6時間)	ワンレン・グラ・レイヤーからひとつ+メンズ
		その他	コンベックスとコーンケープの違い
		(5時間)	フロントフォルムの違い セニングの入れ方の違い ワンレングス つなぐ位置によるシルエットの違い(耳後ろ、みつえり) ハイレイヤー展示

[令和3年度] 授 業 計 画

教科科目：総合技術		授業方法 実習		学年：2年	
ヘアデザインコース		予 定 時：100 時間		実施時間：	
実務経験者による授業		担当講師：茂木・土屋			
授業内容		デザインカット、カラーリングやパーマネットウェーブ等を学び、より実践的な力を養う。			
到達目標		様々なスタイルをイメージし、形にすることができる。 相モデルの実習を通しお客様の立場になって施術できる力を身につける。			
学期	時数	項目	内 容		
2 学期	100	メンズ	カット		
		(14時間)	カラー		
			パーマ		
		レディース	カット		
		(30時間)	カラー(ブリーチ・マニキュア等)		
			パーマ		
			縮毛矯正 等		
		応用	相モデルカラー 等		
		(44時間)			
		(12時間)	外部講師2回セミナー		

[令和3年度] 授 業 計 画

教科科目：総合技術		授業方法 実習		学年：2年	
ネイルクリエートコース		予 定 時：200 時間		実施時間：	
実務経験者による授業 ○		担当講師：新田			
授業内容		検定試験受験及びコミュニケーションを通し、お客様が満足できる技術の提供			
到達目標		ネイルサロンに於いて最低限必要な検定試験に合格するレベルまで達する。			
学期	時数	項目	内 容		
1 学 期	100	道具の使い方	ファイル、メタルプッシャー、キューティクルニッパーの使用方法の振り返り		
		ネイルケア	ファイル、メタルプッシャー、キューティクルニッパーの安全な使用法		
		ポリッシュ塗布	ベース、カラーポリッシュ、トップコートの仕上がりのレベルアップを図る		
		ファイリング	代表的な爪のカット形状の習得		
		ネイルアート	アクリル絵の具を使用したイラストの作成		
			エンボス、3D技術の習得		
		アーティフィシャルネイル	ハーフチップを使用した人工的な長さ出し(チップラップ)		
			ハーフチップを使用した人工的な長さ出し(チップオーバーレイ)		
			アクリルを使用した人工的な長さ出し		
	ジェルを使用した人工的な長さ出し				
2 学 期	100	ジェルネイル	ジェルオフ		
			ジェルの操作を熟知し仕上がりのレベルアップを図る		
			グラデーション、フレンチの技術習得		
		アーティフィシャルネイル	ジェルを使用した人工的な長さ出し		
			アクリルを使用した人工的な長さ出し		
		ネイルアート	フレンチ、エンボス、3D技術の習得		

[令和3年度] 授 業 計 画

教科科目：総合技術		授業方法 実習		学年：2年	
ブライダルビューティーコース		予 定 時：200 時間		実施時間：	
実務経験者による授業		担当講師：五十嵐 静香			
授業内容		エステ、着付の実習を通し、ブライダルに必要な知識を身に付ける。			
到達目標		エステティックの基礎を学び「フェイシャルエステティシャン」のディプロマ取得を目指す 着付やブライダルの基礎を身に付け、トータルでのスタイル作りをする			
学期	時数	項目	内 容		
1 学 期	100	エステ	エステティック理論		
			フェイシャルクレンジング、ディープクレンジング		
			リンパマッサージ、栄養導入、マスク		
			認定試験		
		アロマ	アロマオイル作成		
		ハンドマッサージ	アロマオイルを使用、パラフィンパック		
		フットマッサージ	アロマオイルを使用、フットバス		
2 学 期	100	着付	浴衣		
			女性、男性袴		
			振袖 帯変わり結び		
		ヘアメイク	和装用、洋装用、ウエディング用		
			トータル制作、写真撮影		
		フラワーアレンジメント	洋装、和装		

令和3年度 山形美容専門学校 美容科 授業時間数

昼間課程 2年（衛生専門課程）

教科科目	単位	時間	実務経験者が指導
必修科目			
関係法規・制度	1	30	
衛生管理	3	90	
保健	3	90	
香粧品化学	2	60	
文化論	2	60	○
美容技術理論	5	150	○
運営管理	1	30	
美容実習	30	900	○
計	47	1,410	
選択科目			
芸術	2	60	○
社会・福祉	2	60	○
メイクアップ	3	90	○
エステティック	1	30	○
ネイル	1	30	○
着付	1	30	○
総合技術	10	300	○
計	20	600	
合計	67	2,010	
実務経験者による授業時間合計	57	1,710	

成績の分布状況

○令和2年度

客観的な指標の算出方法						
履修課目の成績評価を点数化し、全科目の合計点の平均を算出する (100点満点で点数化)						
学科名:美容科		学年:1年		学生数:58人		
成績の分布						
指標の数値	~50点	50 ~60点	60 ~70点	70 ~80点	80 ~90点	~100点
人数	0	1	2	13	35	7
下位1/4に該当する人数 14 人						
下位1/4に該当する指標の数値 78.5 点以下						

成績評価基準

判定	評価点	成績評価内容
合格	100~90点	到達目標を十分に達成し、非常にすぐれた成果をおさめている
	89~80点	到達目標を十分に達成している
	79~70点	到達目標を最低限達成している
不合格	69点以下	到達目標を達成していない

成績評価の基準・方法

■国家試験課題課目について

- ・関係法規・制度
- ・衛生管理
- ・保健
- ・化粧品化学
- ・文化論
- ・美容技術理論
- ・運営管理
- ・美容実習

[評価の基準・方法]

目標達成状況を学期ごとに試験をし、100点満点で点数化する。
在学中確実に国家試験取得を目指す為、1年生70点以上、2年生は80点以上を合格ラインとする。

■その他の課目

- ・芸術
- ・社会・福祉
- ・メイクアップ
- ・エステティック
- ・ネイル
- ・着付
- ・美容総合技術

[評価の基準・方法]

履修状況、授業への取り組み、作品やレポート等の提出状況を総合的に判断し100点満点で点数化し評価する。

[令和3年度] 授 業 計 画

教科科目：関係法規〔授業方法 講義〕		担当講師：佐藤 善則	学年：1年
法定時数：30時間		予 定 時：27時間（2年・5時間の予定）	実施時間：
到達目標		美容師法に関する理解を深め、美容師国家試験合格を目標とする。	
学期	時数	項目	内 容
1 学期	10	授業概要の説明	講義の進め方 法令の読み方等
		第1章 第1節	社会生活における法の役割
		第2節	法の形式
		第3節	衛生法規の概要
		まとめ	小試験・解説
		第2章 第1節	衛生行政の意義と歴史
		第2節	衛生行政分類と生活衛生行政
		第3節	衛生行政を担う行政機関
			保健所の役割 1学期のまとめ
		試験 解説	1学期試験の解説
2 学期	10	第3章 第1・2節	美容師法の目的と定義
		第3節	美容師法(養成施設)
			美容師法(美容師試験・美容師名簿登録)
			美容師法(美容師/講ずべき衛生措置)
			美容師法(美容師/免許証の変更手続き)
		まとめ	小試験・解説
		第4節	美容師法(美容師/不利益処分)
			美容師法(美容師/管理美容師)
			美容師法(美容所/美容所の解説)」
		試験 解説	2学期試験の解説
3 学期	7	第3章 第4節	美容師法(美容所/講ずべき衛生措置)」
			美容師法(美容所/出張美容)
		第5節	美容師法(立ち入り検査等)
		第6節	美容師法(違反者の行政処分)
		第7節	美容師法(罰 則)
		第4章	関連法規(美容業の運営に関する法律等)
		試験 解説	3学期試験の解説

[令和3年度] 授 業 計 画

教科科目：関係法規〔授業方法 講義〕		担当講師：佐藤 善則	学年：2年
法定時数：30時間		予 定 時：5時間	実施時間：
到達目標		美容師法に関する理解を深め、美容師国家試験合格を目標とする。	
学期	時数	項目	内 容
3 学 期	5	教科書のまとめ	重要項目等の説明
		過去問題の演習	第38・39回美容師試験問題の演習と解説
		過去問題の演習	第40・41回美容師試験問題の演習と解説
		試験対策	美容師試験の出題傾向と対策
		卒業試験の解説	卒業試験・重点項目の解説

[令和3年度] 授 業 計 画

教科科目：衛生管理〔授業方法 講義〕		担当講師：大谷 勝実		学年：1年	
法定時数：90時間		予定時数：45時間(2年次 45h)		実施時間：時間	
到達目標		美容師として必要な公衆衛生・環境衛生、感染症に関する基礎的な知識を習得する。			
学期	時数	項目	内 容		
1 学 期	15	公衆衛生の概要	公衆衛生の意義と課題		
		〃	公衆衛生発展の歴史		
		〃	消毒法の歴史		
		〃	美容師と公衆衛生		
		〃	保健所と美容業		
		保 健	母子保健		
		〃	成人・高齢者保健		
		〃	精神保健		
		環境衛生	環境衛生の概要		
		〃	空気環境(空気と健康、温度・湿度・気流と健康)		
		〃	期末試験解説		
2 学 期	18	環境衛生	衣服・住居の衛生		
		〃	上・下水道と廃棄物		
		〃	衛生害虫とネズミ、環境保全		
		感染症総論	人と感染症(感染症発見の歴史・感染症と法律)		
		〃	人と感染症(感染症の分類)		
		〃	病原微生物(微生物の種類、形と大きさ)		
		〃	病原微生物(微生物の構造)		
		〃	病原微生物(微生物の増殖と環境の影響)		
		〃	感染症の予防(微生物の病原性と人体の感受性)		
		〃	感染症の予防(汚染、感染および発病)		
		〃	感染症の予防(常在細菌叢、免疫と予防接種)		
		〃	感染症の予防(感染症発生の要因)		
		〃	感染症予防の3原則		
〃	期末試験解説				
3 学 期	12	感染症各論	美容と感染症		
		〃	空気・飛沫を介して感染する感染症1		
		〃	空気・飛沫を介して感染する感染症2		
		〃	飲食物を介して感染する感染症		
		〃	血液を介して感染する感染症		
		〃	動物・節足動物を介して感染する感染症		
		〃	具体的な対策の例		
		〃	学年末試験解説		

[令和3年度] 授 業 計 画

教科科目：衛生管理〔授業方法 講義〕		担当講師：荒木 茂	学年：2年	
法定時数：90時間		予定時数：45時間（1年次:45時間）	実施時間：時間	
到達目標		1 衛生管理技術の習得 2 理容所及び美容所における衛生管理要領の習得		
学期	時数	項 目	内 容	
1 学 期	15	消毒法総論	消毒とは、消毒の意義	
		〃	美容の業務と消毒との関係	
		〃	消毒法と適用上の注意	
		消毒法各論	理学的消毒法(紫外線消毒)	
		〃	理学的消毒法(煮沸消毒)	
		〃	理学的消毒法(蒸気消毒)	
		〃	化学的消毒法(アルコール消毒)	
		〃	化学的消毒法(次亜塩素酸ナトリウム消毒)	
		〃	化学的消毒法(界面活性剤消毒)	
		〃	化学的消毒法(グルコン酸クロルヘキシジン消毒)	
		〃	化学的消毒法(その他の消毒薬)	
		〃	1学期学習まとめ	
		〃	1学期末試験解説	
2 学 期	20	消毒法各論	すぐれた消毒法とその実施上の注意	
		消毒法実習	消毒薬の概要	
		〃	器具の使い方、消毒薬と希釈液の濃度	
		〃	消毒薬希釈法	
		〃	消毒薬水溶液の作り方(実習)	
		〃	美容所における消毒の原則、消毒設備	
		〃	美容器具類の消毒法	
		〃	美容師の手指の消毒	
		〃	その他のものの消毒、美容所の消毒の現状	
		〃	美容所の清潔法の実際	
		〃	衛生管理の実践例	理容所及び美容所における衛生管理要領
		〃	〃	美容所の自主管理点検表
		〃	2学期学習まとめ	
〃	2学期末試験解説			
3 学 期	10	学習総まとめ	練習問題、ワークブック、過去の問題を学習	
		卒業試験解説		
		〃		

[令和3年度] 授 業 計 画

教科科目：保健〔授業方法 講義〕		担当講師 安達純子	学年：2年
法定時数：90時間		予 定 時：45時間(1年次:45時間)	実施時間：
到達目標		国家試験合格を目指し皮膚とその付属器官について学び、健康管理ができる知識を得て特に皮膚や毛髪に関する深い理解を深めさせる	
学期	時数	項 目	内 容
1 学 期	15	第3章皮膚の循環器系と神経系	1項皮膚の血管、2項皮膚のリンパ管、3項皮膚の神経
		第4章皮膚と皮膚付属器官の生理機能	1項対外保護作用、2項体温調節作用、3項知覚作用皮膚反応
			4項分泌排泄機能、5項呼吸作用、6項吸収作用、7項貯蔵作用
			8項免疫・解毒・排除作用、9項再生作用
			10項毛のはたらき、11項爪のはたらき
			第4章 確認問題と解説
		第5章皮膚と皮膚の付属機関の保	1項皮膚と全身状態、2項皮膚と精神、3項皮膚と栄養、4項皮膚とし好品
			5項皮膚と体内病変6項皮膚の水分と脂の状態7項皮膚・付属機関とホルモン
			8項皮膚の保護と手入れ、9項毛の保護と手入れ、10項爪の保護と手入れ、11項子どものおしゃれトラブル
			第5章 確認問題と解説
	第3,4,5章の復習		
2 学 期	20	第6章皮膚と皮膚の付属器官の疾	1項 皮膚の異常とその種類
			2項皮膚疾患の原因、3項皮膚疾患の治療法
			4項 皮膚炎と湿疹・蕁麻疹・薬疹
			5項 口唇の疾患、6項 温熱・寒冷による皮膚障害
			7項 角化異常による皮膚疾患、8項 色素異常による皮膚疾患
			9項 血管腫、10項 脂腺母斑、11項 下肢静脈瘤
			12項 分泌異常、13項 化膿菌、14項 ウイルス、15項 真菌
			16項 衛生害虫、17項 感染症の皮膚疾患の予防
			18項 毛と爪の疾患、19項皮膚の腫瘍
			第6章 確認問題と解説
			【人体の構造及び機能】重要ポイントまとめ①～②
			【人体の構造及び機能】重要ポイントまとめ③～④
			【人体の構造及び機能】重要ポイントまとめ⑤～⑥
			【人体の構造及び機能】重要ポイントまとめ⑦～⑧
			【皮膚科学】重要ポイントまとめ①～②
			【皮膚科学】重要ポイントまとめ③～④
	【皮膚科学】重要ポイントまとめ⑤～⑥		
3 学 期	10	受験対策	国家試験対策 過去問題と解説①
			国家試験対策 過去問題と解説②
			国家試験対策 過去問題と解説③
			国家試験対策 過去問題と解説④
			国家試験対策 過去問題と解説⑤
			国家試験対策 過去問題と解説⑥

[令和3年度]

授 業 計 画

教科科目：保健(皮膚)[授業方法 講義]		担当講師：鈴木 孝子	学年：1年
法定時数：90時間（45時間）		予 定 時：45時間（2年次45時間）	実施時間：
到達目標		<ul style="list-style-type: none"> ・皮膚の構造と生理がわかる。 ・皮膚と皮膚付属器官の疾患と基本的な対処がわかる。 	
学期	時数	項 目	内 容
1 学 期	15	はじめに	オリエンテーション 学習目的
		第1章 皮膚の構造	1 皮膚の表面 2 皮膚の断面 3 表皮
			4 表皮と真皮の境 5 真皮 6 皮下組織 7 皮膚の部位差
		第2章 皮膚付属器官の構造	1 毛 毛の構造 1-1毛の構造
			-2毛の型と毛の成長周期 -3毛の型の変化
			4 毛の成長 -5毛の性状 -6立毛筋
			2 脂腺 3 汗腺① 4 爪 1学期期末試験 解答・解説
2 学 期	18	第3章 皮膚の循環器系と神経系	1 皮膚の血管 2 皮膚リンパ管
			3 皮膚の神経
		第4章 皮膚と皮膚付属器官の生理機能	1 対外保護作用
			2 体温調節作用 3 知覚作用と皮膚反射
			4 分泌排泄作用(1皮脂の分泌 2皮脂の生理作用)
			4 分泌排泄作用(3汗の分泌)
			5 呼吸作用 6 吸収作用 7 貯蔵作用
			8 免疫・解毒・排除作用 9 再生作用
			10 毛のはたらき 11 爪のはたらき
		第5章 皮膚と皮膚付属器官の保健	1 皮膚と全身状態 2 皮膚と精神
			3 皮膚と栄養 4 皮膚と嗜好品 5 皮膚と体内病変
			6 皮膚の水分と脂の状態 -1しわ
			6-2乾皮 -3あぶら性 -4敏感肌
	7 皮膚・付属器官とホルモン -1皮膚とホルモン -2 脂腺とホルモン -3 毛とホルモン		
	8 皮膚の保護と手入れ -1皮膚の保健 -2皮膚の手入れ -3ひげそりあと -4ふけ症		
	-5汗 -6紫外線 -7皮膚表面 -8皮膚の色 -9硬い皮膚		
	9 毛の保護と手入れ		
	10 爪の保護と手入れ 11 子どものおしゃれ 2学期期末試験 解答と解説		
3 学 期	12	第6章 皮膚と皮膚付属器官の疾患	1 皮膚の異常とその種類 2 皮膚疾患の原因
			3 皮膚疾患の治療法 4 皮膚炎と湿疹・蕁麻疹・薬疹
			4-1接触皮膚炎
			4 -2日光皮膚炎 -3小児湿疹 -4アトピー性皮膚炎 -5脂漏性皮膚炎 -6尋常性乾癬 -7ウィダール苔癬 -8蕁麻疹
			5 口腔疾患 6 温熱・寒冷による皮膚障害 7 角化異常
			8 色素異常による皮膚疾患 9 血管腫 10 脂腺母斑
			11 下肢静脈瘤 12 分泌異常による皮膚疾患
			13 化膿菌 14 ウイルス 15 真菌 16 衛生害虫 17 感染症
			18 毛と爪の疾患 19 皮膚の腫瘍 3学期期末試験 解答と解説

[令和3年度] 授 業 計 画

教科科目：香粧品化学〔授業方法 講義〕		担当講師：齋藤 明子	学年：1年
法定時数：60時間		予 定 時：30時間	実施時間：
到達目標		香粧品の性状や使用目的を学び、どのような原料が配合されているか、製品の安定性も含めた安全性についても理解させる。	
学期	時数	項目	内 容
1 学期	10	1章 香粧品概論	1節 香粧品の社会的意義と品質特性
		"	2節 香粧品の定義、製造販売の規制、表示・広告の規制
		"	3節 香粧品と安全性、表示成分と安全性、トラブル
		"	3節 香粧品の安定性、経時変化、取り扱い上の注意
		"	頭皮や毛髪健康状態、爪の性状
		2章 香粧品用原料	2節 水性原料 水、エタノール
		"	3節 油性原料 油脂、ロウ、炭化水素
		"	4節 界面活性剤の性質
		"	1学期復習、テスト対策
		"	テスト解説
2 学期	12	2章 香粧品用原料	4節 界面活性剤の種類
		"	界面活性剤の香粧品への応用
		"	5節 高分子化合物
		"	6節 色材 無機顔料
		"	有機合成色素(タール色素)
		"	光輝性顔料、天然色素
		"	7節 香料の種類
		"	8節 その他の特殊成分
		"	香粧品原料の品質保持に用いられる配合成分
		"	香粧品配合成分があたえる機能
		"	2学期まとめ、テスト対策
		"	テスト解説
		3 学期	8
3章 基礎香粧品	1節 皮膚清浄用香粧品		
"	2節 化粧水		
"	3節 クリーム、乳液		
"	4節 その他の基礎香粧品		
"	" 打粉類、パック剤		
"	3学期まとめ、テスト対策		
"	テスト解説		

[令和3年度] 授 業 計 画

教科科目：香粧品化学〔授業方法 講義〕		担当講師：齋藤 明子	学年：2年				
法定時数：60時間(30時間)		予 定 時：31時間	実施時間：				
到達目標	1 美容の業務で使用する香粧品について安全かつ適正に行えるよう成分、作用原理、使用上の注意について理解させる 2 香粧品化学について美容師の国家試験に合格する知識を習得させる						
学期	時数	項目	内 容				
1 学 期	11	4章メイクアップ用香粧品	1節 メイクアップ用香粧品の種類と剤形 2節 1 おしろい類 2 ファンデーション類 3節 ホイットメイクアップ用香粧品 1 紅類 2 アイメイクアップ香粧品 3 ネイル技術用香粧品類				
		5章頭皮・毛髪用香粧品	1節 1 シャンプー剤 2 ヘアリンズ剤 3 ヘアトリートメント剤 2節 スタイルング剤 1機能 2 油性スタイルング剤 3 液状スタイルング剤 4 高分子物質を基剤とするスタイルング剤 ①セットローション ②ジェル ③ヘアミスト ④エアゾールタイプ				
		1学期のまとめ					
		1学期試験解説					
		2 学 期	14		3節 パーマ剤 1 パーマの原理 2 パーマ剤の分類 3 パーマ剤第1剤 4 パーマ剤第2剤 5 使用上の注意 4節 ヘアカラー製品 1種類と染毛メカニズム 2一時染毛料 3 半永久染毛料 4 脱色剤・脱染剤 ①脱色剤 ② 脱染剤 5 永久染毛剤 ①酸化染毛剤 ①酸化染毛剤 ②酸化染毛剤と皮膚アレルギー試験 6 使用上の注意 7 その他のヘアカラー製品 5節 育毛剤		
				6章芳香製品と特殊香粧品	1節 芳香製品 1 香水 2 オーデオロン 3 その他 4 効用と使用上の注意 2節 特殊香粧品 1 サンケア製品 2 美白用香粧品 3 制汗・防臭剤 4 ニキビ用香粧品		
				2学期のまとめ・解説			
				3 学 期	6	国家試験対策	問題演習1
							問題演習2
							問題演習3
	問題演習4						
卒業試験解説							

[令和3年度] 授 業 計 画

教科科目：文化論〔授業方法 講義〕		担当講師：小林 さとみ		学年：1年	
法定時数：60時間		予 定 時：22時間		実施時間：22時間	
実務経験者による授業 ○					
授業内容		さまざまな髪型、化粧、服装の変遷流行を学びます			
到達目標		風俗と時代背景とのつながりを読み解くことで、流行のメカニズムを知り、時代とファッションの関わりを知る			
学期	時数	項目	内 容		
1 学期	10	第1章 総論	理容・美容の語源	p6～	
		第4章	古代エジプト	p108～	
		〃	古代ギリシャ・ローマ	p110～	
		〃	古代ゲルマン・中世ヨーロッパ	p113～	
		〃	中世ヨーロッパ・近世Ⅰ(16世紀)	p118～	
		〃	近世Ⅱ(17世紀)	p124～	
		〃	近世Ⅲ(18世紀)	p128～	
		〃	近代Ⅰ・Ⅱ(18世紀末～19世紀)	p134～	
				まとめ	
				期末試験解説	
2 学期	12	第4章	現代Ⅰ(1910～1920)	p139～	
		〃	現代Ⅱ(1930～1940)	p143～	
		〃	現代Ⅲ(1940～1950)	p145～	
		〃	現代Ⅳ(1960)	p149～	
		〃	現代Ⅴ(1970)	p153～	
		〃	現代Ⅵ(1980)	p158～	
		〃	現代Ⅶ(1990～2010)	p161～	
				まとめ	
		第5章	和装の礼装	p164～	
		〃	洋装の礼装	p168～	
				まとめ	
				期末試験解説	

[令和3年度] 授 業 計 画

教科科目：文化論〔授業方法 講義〕		担当講師：五十嵐 静香	学年：1年
法定時数：60時間		予 定 時：8時間	実施時間：
実務経験者による授業 ○			
授業内容		ブライダル業務経験による日本髪・化粧・着物等の詳細授業	
到達目標		理容業・美容業の発生を知る 髪型・化粧・服装の歴史を知る	
学期	時数	項目	内 容
3 学 期	8	第1章 総論	
		第2章 第1.2節	美容業の発生・江戸時代の美容業
		第2章 第3節	近代の美容業
		第2章 第4節	現代の美容業
		第3章 第1節	縄文・弥生・古墳(髪型・化粧・服装)
		第3章 第2節	古代(飛鳥・奈良・平安)(髪型・化粧)
			学年末試験対策
			学年末試験解答解説

[令和3年度] 授 業 計 画

教科科目：文化論〔授業方法 講義〕		担当講師：五十嵐 静香	学年：2年
法定時数：60時間		予 定 時：30時間	実施時間：
実務経験者による授業 ○			
授業内容		ブライダル業務経験による日本髪・化粧・着物等の詳細授業	
到達目標		髪型・化粧・服装の歴史を知る。国家試験対策をし、理解を深める。	
学期	時数	項目	内 容
1 学 期	11	第3章 第2節	古代(飛鳥・奈良・平安)
		第3章 第3節	中世(平安末・鎌倉・室町・戦国)
		第3章 第4節	近世(戦国末・安土桃山)
		第3章 第5節	近世Ⅱ(江戸)(髪型)
			1学期期末試験対策
			1学期期末試験解答解説
2 学 期	14	第3章 第5節	近世Ⅱ(江戸)
		第3章 第6節	近代(明治・大正・昭和20年まで)
		第3章 第7節	現代Ⅰ(1945年～1950年代)
		第3章 第7節	現代Ⅰ(1945年～1950年代)
		第3章 第8節	現代Ⅱ(1960年代～1970年代)
		第3章 第9節	現代Ⅲ(1980年代～1990年代)
		第3章 第10節	現代Ⅳ(2000年代以降)
			2学期末試験対策
			2学期末試験解答解説
3 学 期	5	第3章 第6節	近代(明治・大正・昭和20年まで)復習
		第3章 第7節	現代Ⅰ(1945年～1950年代)復習
		第3章 第8・9・10節	現代Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ復習
			国試対策 模擬試験1
			国試対策 模擬試験2
			卒業試験解答解説

[令和3年度] 授 業 計 画

教科科目：美容理論		授業方法 講義		学年：1年
法定時数：150時間		予 定 時：50 時間（2年次・100時間）		実施時間：
実務経験者による授業 ○		担当講師：小林、安達、沖山、三井寺		
授業内容		美容室でスタイリストとして勤務した経験を活かし、実務的な事例を含めた理論を学ぶ		
到達目標		理論に基づいた美容技術を習得する		
学期	時数	項目	内 容	
1 学 期	18	美容理論概論	美容理論と美容技術～	
		美容用具	美容技術における用具～	
		メイクアップ	概論、スキンケア～ポイントメイク	
		〃	色彩、皮膚の構造、形態学、模擬問題	
		シャンプーイング	シャンプーイング総論、サイドシャンプー、バックシャンプー	
		解答	解説	
2 学 期	20	エステティック	概論、カウンセリング	
		〃	フェイシャルケア技術、フェイシャルパック	
		日本髪	日本髪の名称、種類と特徴	
		〃	日本髪の調和、結髪道具、技術	
		ヘアセッティング	ヘアセッティングとは～ヘアカーリング	
3 学 期	12	ネイル技術	爪の構造と機能～	
		〃	ネイル3級対策	
		着付	着物各部の名称、着付の一般的要領	
		〃	黒留袖、振袖	
		まつ毛エクステンション	衛生及び保健～	

[令和3年度] 授 業 計 画

教科科目：美容理論		授業方法 講義		学年：2年	
法定時数：150時間		予 定 時：100時間（1年次・50時間済）			
実務経験者による授業 ○		担当講師：新田、五十嵐、茂木、土屋。			
授業内容		実務経験を活かし、美容の基礎的な理論と技術を筋道を立てて説明する			
到達目標		理論を学びながら技術を導き、技術を学びながら理論の正しさを知る			
学期	時数	項目	内 容		
1 学 期	23	着付の理論と技術	振袖着付技術/男子礼装羽織袴/婚礼着付の際の注意事項		
		〃	和装花嫁/洋装花嫁		
		ヘアカッティング	ヘアカッティングとは/シザーズとレザーの扱い方/美容刃物		
		〃	ヘアカッティングの正しい姿勢/ブロッキング/基礎理論		
		〃	ベーシックなカット技法/シザーズによるカット技法/レザーによるカット技法		
		ヘアデザイン	美容とデザイン		
2 学 期	27	パーマネットウェービング	パーマネットウェーブの歴史と現在/パーマネットウェーブの理論		
		〃	パーマ材の分類/パーマ材に関する注意事項/パーマネットウェーブ技術		
		〃	ワインディングのバリエーション/縮毛矯正		
		ヘアカラーリング	ヘアカラーリング概論/ヘアカラーの種類/ヘアカラーのタイプ別特徴		
		〃	染毛のメカニズム/色の基本/毛髪のレベルとアンダー トーン		
		〃	パッチテスト/染毛剤使用時の注意事項/ヘアカラーリングの道具		
		〃	参加染毛剤の技術手順/酸性染毛量の技術手順/ヘアブリーチ		
3 学 期	50	国試対策	プリント復習問題		

[令和3年度] 授 業 計 画

教科科目： 運営管理〔授業方法 講義〕		担当講師： 沖山 ゆき枝	
法定時数： 30時間		予 定 時： 30時間	
到達目標 美容師の提供するサービスとサービスを介しての顧客との関係性を理解でき、状況に応じたサービス計画を作成実行できる。会社の就業環境改善と労働生産性向上には、同僚従業員と協働して顧客満足を実現することの重要性を理解でき、かつ所定労働時間内で高度なサービス提供実現に向けた業務改善の意味を理解できること。			
学期	時数	項目	内 容
1 学 期	11	経営者の視点から	経営が必要とされる理由、経営資源と経営計画、経営戦略、経営戦略が目指すもの、顧客に選ばれるよい店の実現
		理容業・美容業の経営環境	理容・美容業界の現状、競争の変化、サービスは経験の提供、顧客が決めるサービス、理容・美容の顧客の特徴
		資金管理	資金管理とは、会計の活用、利益の仕組み、コストの仕組み、コスト削減をするために、税金の種類とその内容、税金を支払うタイミング
		人という資源、人の能力を高める	美容業における人という資源の特徴、労務管理の目指すもの、採用について、従業員のトレーニング
		人をやる気にさせるために、給与・待遇・福利厚生	トレーニングと資格制度、やる気とは何か、やる気を高める、給与の役割、給与の設計、評価・待遇、福利厚生、休暇
		労働者の権利、健康安全な職場環境の実現	働く者の権利、適正な労使関係の構築、新しい問題への対応、健康管理の基礎、理容・美容の仕事と健康、理容業・美容業に特徴的な健康問題
		理容・美容の仕事と健康	"
2 学 期	14	従業員としての視点から	社会人としての責任、理容・美容という仕事ゆえの責任、公的年金、医療保険、労働保険、キャリアプランの重要性、仕事をするうえで考えるべきこと
		年金保険、医療・介護保険	働く者の権利、適正な労使関係の構築、新しい問題への対応、健康管理の基礎、理容・美容の仕事と健康、理容業・美容業に特徴的な健康問題
		労働関係法規	"
		顧客が求める価値、価値の実態、顧客満足とシステム	サービス・デザインとは、サービス・デザインの要点、価値の構造、競争の現実、価値を実現するシステム、顧客満足とシステム
		最も重要な価値:人、価値の多様性、顧客が求めるもの	人の役割、最も目立つ価値、顧客が求めている価値、実現すべき価値は多種多様、サービスの範囲とは、サービスの範囲と経営
		サービス・デザイン	"
		理容業・美容業のマーケティング①	理容業・美容業のマーケティングの特徴、マーケティングの要点、マーケティング・ミックスの要点、システムとして働くということ、価値を保持するリーダーの役割
		理容業・美容業のマーケティング②	"
3 学 期	5	理容業・美容業の経営環境、経営戦略、資金管理	競争の変化、顧客が決めるサービス、理容・美容の顧客の特徴、資金管理とは、会計の活用、利益の仕組み、コストの仕組み、コスト削減をするために
		年金保険、医療・介護保険、労働関連法規、仕事と健康	セーフティネット公的年金、医療保険、労働保険、働く者の権利、適正な労使関係の構築、新しい問題への対応、健康管理の基礎、理容・美容の仕事と健康
		労働関係法規	働く者の権利、適正な労使関係の構築、新しい問題への対応、健康管理の基礎、理容・美容の仕事と健康、理容業・美容業に特徴的な健康問題

[令和3年度] 授 業 計 画

教科科目 : 美容 実習		授業方法 実習		学年 : 1年
法定時数 : 900 時間		予定時数 : 495時間 (2年次:405時間)		実施時間 : 時間
実務経験者による授業 ○		担当講師 : 小林、安達、沖山、三井寺.		
授業内容		美容師として勤務した経験を活かし、お客様とのコミュニケーションとお客様が満足できる技術の提供及び国家試験技術		
到達目標		美容の基本をしっかりと身につけ美容室に於いて即戦力として施術ができる基礎作りをする		
学期	時間	項目	内 容	
1 学 期	175	道具の使い方	道具渡し ウイッグの手入れと使用方法	
		ワインディング ①	センターブロッキング センターワインディング 十等分ブロッキング	
		編み込み	表・裏編み	
		ワインディング ②	国家試験ワインディング ブロッキング～アップとダウンテクニック	
		ブロー	ハーフラウンドブラシの使用方法	
		シャンプー	シャワーヘッドの持ち方と手順	
		ワインディング ③	定めた時間内に巻き収める	
		スタイリング	ハンドドライヤーとアイロンを使用して仕上げる	
		シャンプー	指先のテンションの使い方	
		浴衣スタイル	編み込みを使用した夏のスタイル作り	
		ネイル	ネイルケア	
		アップスタイル	編み込みを使用した夏のスタイル作り	
2 学 期	204	カット	ベーシックカット(ワンレングス、セიმレングス)	
		ワインディング	タイム20分で巻き上げる	
		オールウエーブ	カールの作り方(スカルプチュアカール、リフトカール、メイポールカール)	
		スタイリング	ハンドドライヤーとアイロンを使用して仕上げる	
		シャンプー・ブロー	ハンドドライヤーとアイロンを使用して仕上げる	
3 学 期	116	スタイリング	ハンドドライヤーとアイロンを使用して仕上げる	
		シャンプー・ブロー	ハンドドライヤーとアイロンを使用して仕上げる	
		ワインディング	時間内に巻き収める	
		オールウエーブ	フィンガーウエーブテクニック 国家試験課題 7段構成完成	

[令和3年度] 授 業 計 画

教科科目 : 美容 実習		授業方法 実習	学年 : 2年
法定時数 : 900 時間		予定時数 : 405時間 (1年次:495時間済)	実施時間 : 時間
実務経験者による授業 ○		担当講師 : 新田、五十嵐、茂木、土屋.	
授業内容		美容室でスタイリストとして勤務した経験を活かし、実務的な事例を含めた実習を行う	
到達目標		技術に関する専門的な基礎知識を身に付ける。国家試験課題に関しては合格基準に達するようになる。シャンプー等は相手の気持ちを考えられるような施術を目指す。	
学期	時間	項 目	内 容
1 学 期	145	ワインディング	相モデルでのサロン実務に向けたデザイン巻き
		〃	国家試験の合格基準に達するよう課題に取り組む
		〃	ウィッグでのデザインパーマ巻き
		オールウェーブ	国家試験課題 7段構成の配分を理解し時間内に完成
		シャンプー	相モデルでのシャンプー サイドシャンプー、リアシャンプーの手順
		まとめ髪	サロンで使えるアップスタイル
2 学 期	190	オールウェーブ	国家試験課題 7段構成の配分を理解し時間内に完成
		カット	国家試験課題 レイヤースタイル
		シャンプー&ブロー	就職先のシャンプースタイルに合わせた施術 モデルの髪質に応じたブロー
3 学 期	80	国家試験 第一課題	国家試験課題の合格基準に達するための訓練と、 衛生実技試験に対応した練習
		〃 第二課題	
		シャンプー	就職先のシャンプースタイルに合わせた施術 モデルの髪質に応じたブロー

[令和3年度] 授 業 計 画

教科科目： 芸術		担当講師： 小野 隆弘		学年： 1年	
授業内容： 演習		予 定 時： 22時間（1年次22時間済）		実施時間： 時間	
実務経験者による授業 ○					
授業内容		中学校で美術教師をしていた経験を生かして、テキストを使いながら色彩の様々な特性を指導する。 テキスト『やさしい色彩検定3級』を使いながら、色彩について学習する。			
到達目標		日常生活の中で、色彩の持つ様々な特性を目的に応じて活用できるようにし、色彩検定3級の合格を目指す。			
学期	時数	項目	内 容		
1 学 期	8	色を分類する	オリエンテーション, 色の三属性		
		色を分類する	純色・清色・中間色, 色立体の構造		
		色の名前	色の三属性を使った色の表示, トーン分類		
		色の名前	トーン記号による色の表示, 言葉による色の表示, 慣用色名		
		色の光	光・色の正体, 光が起こす現象		
		色の光	眼のしくみ, 構造と働き, 網膜		
		色の光	色の視覚的効果や現象, 照明と色の見え方		
		混色	混色の種類・応用		
		色の感じ方	様々な色の心理的な効果		
		色彩と構成	色相で考える配色		
2 学 期	14	色彩と構成	トーンで考える配色		
		色彩と構成	アクセント, セパレーション, グラデーション, リズム, …		
		色彩と生活	ファッションアイテム, カラーコーディネート		
		色彩と生活	インテリアのカラーコーディネート		
		色彩と生活	生活環境を理解する色彩		
		色彩検定に向けて1	過去の問題を解く, 質問		
		色彩検定に向けて2	過去の問題を解く, 質問		
		色彩検定に向けて3	過去の問題を解く, 質問		
		色彩検定に向けて4	過去の問題を解く, 質問		
		色の名前1	色相環・トーン分類図に配色カードを使って貼る操作活動		
		色の名前2	色相環・トーン分類図に配色カードを使って貼る操作活動		
色の名前3	色相環・トーン分類図に配色カードを使って貼る操作活動				

[令和3年度] 授 業 計 画

教科科目： 芸術		担当講師： 小野 隆弘		学年： 2年	
授業方法： 演習		予 定 時： 22時間（2年次 22時間）		実施時間： 時間	
実務経験者による授業 ○					
授業内容		中学校で美術の教員をしていた経験を生かして、人間の頭部を描くことで美的直感力や観察力を付けたい。自分の顔や友達の顔をよく観察して、特徴や美しさを考えながら鉛筆で表現する。			
到達目標		一人一人の絵画表現に対する苦手意識を克服し、人間の頭部やヘアスタイルの美しさを考えて鉛筆表現できるようにする。			
学期	時数	項目	内 容		
1 学 期	22	ヘアイラスト	オリエンテーション、テーマを考え構想を練る		
		ヘアイラスト	クロッキー帳に下書きを描く		
		ヘアイラスト	下がきをイラストレーションボードに写し取る		
		ヘアイラスト	イラストレーションボードに作品を描き進める		
		ヘアイラスト	イラストレーションボードに作品を描き進める		
		ヘアイラスト	イラストレーションボードに作品を描き進める		
		ヘアイラスト	イラストレーションボードに作品を描き進める		
		ヘアイラスト	イラストレーションボードに作品を完成する		

[令和2年度] 授 業 計 画

教科科目：芸術(音楽)	担当講師：根岸 玲那	学年：1年・2年
授業方法：演習	予 定 時：1年：2時間 2年：2時間	実施時間：
実務経験者による授業 ○		
授業内容	音楽での海外留学や長年ピアノの教室で色々な生徒に教えてきた経験を活かし、ジャズやクラシック等幅広いジャンルの音楽を伝え、学生の感性を養う。	
到達目標	山形美容専門学校の校歌を覚え、大きな声で歌う。	

1 年

学期	時数	項目	内 容
1 学期	2	歌唱	校歌、パート分け
		歌唱	校歌、パート分け ジャズやクラシック等幅広いジャンルの音楽を鑑賞

2 年

2 学期	2	歌唱	校歌、パート分け
		歌唱	校歌、パート分け ジャズやクラシック等幅広いジャンルの音楽を鑑賞

[令和3年度] 授 業 計 画

教科科目： 芸術	担当講師： 福田 真	学年： 1年、2年
授業方法： 演習	予 定 時： 1年：6時間 2年：4時間	実施時間： 時間

実務経験者による授業 ○

授業内容	美容室でもヘアメイク等を撮影し、SNS等を利用した集客も見込んでいる中、フォトグラファーの立場から知識や技術を伝える。
到達目標	SNS上での写真の役割を理解する。何を伝えたいかを考え作品(写真)をつくる。

2年生

学期	時数	項目	内 容
1 学 期	6	撮影について	レタッチのやり方
			ポーズ、アングル、光の捉え方について
			撮影デモンストレーション
			作品に対する評価、アドバイス

1年生

学期	時数	項目	内 容
2 学 期	4	撮影について	写真とは
			SNSでの写真の見せ方等

[令和3年度] 授 業 計 画

教科科目：カウンセリング		担当講師：丸山 芳浩	学年：1年
授業方法：講義、演習		予 定 時：13時間	実施時間：
実務経験者による授業 ○			
授業内容		カウンセリング技法を用いて人間関係作りの方法を学び、演習を通して身につける	
到達目標		相手の話を様々な観点から聞くことができ、人間関係がスムーズに構築できるようになる	
学期	時数	項目	内 容
2 学 期	13	カウンセリングとは	カウンセリングの基礎知識とリレーション作り
		受容	相手の話を傾聴し、共感的態度で接するやり方を学びます。
		エコー(1)	相手の言葉を繰り返し、鏡となって写し出します。
		エコー(2)	繰り返す際の問題とその実際を学びます。
		ロールプレイ(1)	サロンでの実例から、受容とエコーの練習をします。
		支 持(1)	相手の言葉を肯定的に返す。言い訳を言ってあげる技法
		支 持(2)	相手を具体的にほめ、承認する。
		質 問(1)	相手が聞いて欲しいことを質問するやり方を学びます。
		質 問(2)	実際に質問を使う練習をします。
		ロールプレイ(2)	支持と質問を用いた公開演習をします。
		ヘアカウンセリングの実際	GROW(成長)をキーワードとしたヘアカウンセリングの進め方
		ロールプレイ(3)	GROWの流れに沿ったヘアカウンセリングの演習をします。
		ヘアカウンセリング演習	総合的にまとめた公開演習をします。

[令和3年度] 授 業 計 画

教科科目 : カウンセリング		担当講師 : 丸山 芳浩	学年 : 2年
授業方法 : 講義、演習		予 定 時 : 12時間	実施時間 :
実務経験者による授業 ○			
授業内容		各種心理テストやワークを通して自分自身を客観的に知り、自分の特性を知る。	
到達目標		長所も短所も含めた自分のありのままを受け入れ、セルフイメージを豊かにする。	
学期	時数	項目	内 容
1 学 期	12	セルフイメージとは	自分を知る学びのオリエンテーション
		交流分析(1)	エゴグラムを通して自分や他者のタイプを知る
		交流分析(2)	多様なエゴグラムの分析を通し、自分自身を深く知る
		I'm OK. You're OK.	対人関係における4つの基本的構えを知り、選択する
		禁止令とその解除(1)	周囲から自分の内へ取り込んだ否定的評価のパターンを知る
		禁止令とその解除(2)	禁止令を解除し、自分に肯定的評価を与える方法を学ぶ
		セルフリフレーミング(1)	自分を別の視点から見えるようにする学び
		セルフリフレーミング(2)	自分の短所は隠された長所だと発見し、リフレーミングする演習
		ストロークの理論	自分のセルフイメージが作られてきた過程を学ぶ
		ストロークのトレーニング	セルフイメージを育てる方法と実践
		自己表現と私メッセージ	自分の本当の気持ちを知り、それを相手に伝える表現法を学ぶ
		自己表現トレーニング	自己開示度を確認し、その力を高める演習を行う

[令和3年度] 授 業 計 画

教科科目：手話		担当講師：齋藤 聡子		学年：1年
授業方法：講義・演習		予定時：13時間		実施時間：
実務経験者による授業 ○				
授業内容		厚生労働大臣認定の手話通訳士である講師が聴覚に障害のある方とのコミュニケーションの方法の多様性を指導する		
到達目標		聴覚障害者(耳の聞こえない人・聞こえにくい人)とのコミュニケーションの方法を理解し、美容室内での簡単な会話ができるようになる		
学期	時数	項目	内 容	
2 学 期	13		聴覚障害者(耳の聞こえない人・聞こえにくい人)とのコミュニケーションの方法を考え、実際に通じるか試してみることにより、コミュニケーションの難しさを知る	
			自己紹介(指文字) 手話コーラス①	
			自己紹介(手話) 手話コーラス②	
			家族の紹介 手話コーラス③	
			数字(お金について) 手話コーラス④	
			趣味の紹介・疑問の表し方 手話コーラス⑤	
			挨拶・食べ物・スポーツ 手話コーラス⑥	
			生年月日・職業 手話コーラス⑦	
			耳の聞こえの仕組み・曜日・時間経過・色 手話コーラス⑧	
			聴覚障害者マークについて・自己紹介(発表) 手話コーラス⑨	
			美容室での会話	
			美容室での会話(実践)	

[令和3年度] 授 業 計 画

教科科目：社会福祉		担当講師：相澤孝志		学年：1年	
授業方法：講義		予定時：18時間		実施時間：	
実務経験者による授業 ○					
授業内容		社会福祉施設での勤務経験や、知識を活かし美容との関係性やあり方を伝える			
到達目標		美容を通じて社会福祉の現状と問題点を理解する			
学期	時数	項目	内 容		
1 学期	14	はじめに	なぜ社会福祉を学ぶのか。社会福祉の歴史		
		医療・所得保障	社会福祉を学ぶ意義・福祉美容の紹介		
		現代社会と社会福祉	私達の生活問題・身体障害について		
		障害者福祉	今までの枠に当てはまらない障害		
		障害者福祉	こころの病		
		高齢者福祉	高齢者の病気①・車椅子体験		
2 学期	4	社会福祉	ボランティアについて・高齢者の病気②		

[令和3年度] 授 業 計 画			
教科科目 :メイク		授業方法 実習	
学年 : 1年			
予定時数 :50 時間(2年40時間予定)		実施時間 : 時間	
実務経験者による授業 ○		担当講師 : 小林、安達、沖山、三井寺	
授業内容		さまざまなお客様を施術した経験から、実務的な事例を含めた実習を行う	
到達目標		基本的なメイクの知識を身につけ、モデルにあったフルメイクを完成させる。	
学期	時数	項目	内 容
1 学 期	50	メイク	メイクの概論 スキンケア ベースメイク ポイントメイク
			フルメイクチェック
			日本メイクアップ連盟 3級検定対策

[令和3年度] 授 業 計 画			
教科科目 :メイク		授業方法 実習	
学年 : 2年			
予定時数 :30 時間(1年次・60時間済)			実施時間 :24 時間
実務経験者による授業 ○		担当講師 : 新田、五十嵐、茂木、土屋	
授業内容		美容室でのショーや撮影の経験を伝えながら、学生達の想像力を活かした作品作りに取り組む	
到達目標		目的に合った顔づくり、どんなニーズにも対応できるメイクを目指す	
学期	時数	項目	内 容
1 学期	21	メイク	メイク3級対策 スキンケア、ベースメイク、ポイントメイク
2 学期	9	メイク	舞台メイク 宝塚メイク 傷メイク等 美容室での撮影やヘアショーを意識したメイク

[令和3年度] 授 業 計 画

教科科目 : エステ		授業方法 実習		学年 : 1年
予 定 時 : 30時間 (1年30時間済)			実施時間 : 時間	
実務経験者による授業 ○		担当講師 : 小林、安達、沖山		
授業内容		美容室でのエステに携わった経験を活かし、お客様に対し気配りをもって接し、人の心に満足感をあたえられるよう心構えや基礎技術を指導する		
到達目標		基礎技術やエステティシャンとしての意識、常識を身に付ける		
学期	時数	項目	内 容	
3 学 期	30	エステ	エステ概論、ハンドクレンジング、拭き取り	
		エステ	ハンドクレンジング、拭き取り、ハンドマッサージ、マスク	

[令和3年度] 授 業 計 画

教科科目：ネイル		授業方法 実習		学年：1年	
予 定 時 数：30 時間				実施時間： 時間	
実務経験者による授業 ○			担当講師：小林、安達、沖山		
授業内容		美容室で技術者として営業した経験を活かし、実務的な事例や検定試験を目指した実習を			
到達目標		ネイルケアの基本的な知識と技術を修得し、検定試験も取得できる技術を身に付ける。			
学期	時数	項目	内 容		
2 学 期	30	ジェルネイル	材料と道具の使い方、ジェルの塗布手順		
		ジェルネイル	ジェルネイル初級取得についての手順や仕上がり ハンドケア、カラーリング、ピーコックアート、仕上げ		
		ネイルケア	爪の名称やケアの必要性 ファイルのかけ方、ニッパーの使い方等		
		ネイル検定	ネイル3級取得についての手順や仕上がり ハンドケア、カラーリング、フラワーアート、仕上げ		
		ネイル検定	ネイル3級取得についての手順や仕上がり ハンドケア、カラーリング、フラワーアート、仕上げ		

[令和3年度] 授 業 計 画

教科科目：着付		授業方法 実習		学年：1年	
予定時数：30時間				実施時間：時間	
実務経験者による授業 ○			担当講師：小林、安達、沖山、三井寺		
授業内容		美容室で多くのお客様の着付に携わった経験を活かし、日本の伝統である着物の良さを伝え、基本から場合に合わせた対応まで幅広い実習を行う			
到達目標		留袖の着付を通し、着付の道具の使い方等の基本を理解し、体型に合ったボディー作りから着付、帯結びまでを修得する。			
学期	時数	項目	内 容		
3 学 期	30	着付につて	道具の説明、使い方 着物の名称 着物のたたみ方		
		留袖着付	ボディー作り 長襦袢の着せ方 留袖の着せ方 二重太鼓の結び方		

[令和3年度] 授 業 計 画

教科科目：総合技術		授業方法 実習		学年：1年	
予定時数：60時間					
実務経験者による授業 ○		担当講師：小林、安達、沖山、三井寺			
授業内容		トータル美容で美容師として経験した技術を生かし、総合的な授業の実践			
到達目標		ブロー、アイロンワーク、まとめ髪の技術の基本を学び、スタイルを作り上げる。 ヘアカラーの技術のベースとなる手順や塗布技術の基礎をしっかり身に付ける。			
学期	時数	項目	内 容		
2 学 期	45	スタイリング	ハンドドライヤーとブラシを用いたブローによるボリュームの強弱を習得する。 アイロンワークの実践		
		ヘアカラー	ウイッグを使ったおしゃれ染め、白髪染め、ハイライト		
3 学 期	15	ジェルネイル	ジェル初級検定に向けて ネイルケア、ジェルネイル塗り方、ピーコックアート		
		まとめ髪	留袖に合うまとめ髪スタイルを相モデルを通し、互いにデザインを作り上げる。		

[令和3年度] 授 業 計 画

教科科目 : 総合技術		授業方法 実習		学年 : 2年	
予 定 時 数 : 40 時間 (1年次・60時間済)				実施時間 : 時間	
実務経験者による授業 ○		担当講師 : 新田、五十嵐、茂木、土屋			
授業内容		美容室勤務でスタイリストとしてヘアショーや撮影をしてきた経験を活かし授業する。 シャンプーはお客様の立場にたった施術をする。			
到達目標		想像力を高め、人に見せて感動を与えられる作品をつくる。			
学期	時数	項目	内 容		
2 学 期	30	学園祭	ヘアショーでの各ステージに応じたヘアメイク等		
		トータルファッション	モデル合ったヘアスタイル、メイクを考えてトータルで仕上げる		

[令和3年度] 授 業 計 画

教科科目：総合技術		授業方法 実習	学年：2年
ヘアデザインコース		予 定 時：100 時間	実施時間：
実務経験者による授業		担当講師：茂木・土屋	
授業内容	様々なスタイルを作っていくために欠かせない、ベーシックカットの基礎知識と基礎技術を学ぶ。		
到達目標	ベーシックスタイルを学び、基礎的な技術を身につける。		
学期	時数	項目	内 容
1 学 期	100	ワンレングス	ワンレングス展開図
		(15時間)	フラット(すべて同じ長さ) ① +20cm ②台座 前上がり ①みつえり～サイド 前下がり ①みつえり～サイド ブロー ①デンマン ②ロールブラシ
		グラデーション	グラデーション展開図
		(12時間)	①縦スライス ②横スライス ブロー
		レイヤー	レイヤー展開図
		(12時間)	①シャギー風レイヤー ②セイムレングス ブロー
		メンズ	サロンスタイル
		(14時間)	刈上げ2パターン ツイストパーマ
		応用	コピースタイル等(9時間)
		(36時間)	ゲストサロンセミナー(9時間) 相モデル撮影 作品作り(18時間)
		テスト	
		(6時間)	ワンレン・グラ・レイヤーからひとつ+メンズ
		その他	コンベックスとコーンケープの違い
		(5時間)	フロントフォルムの違い セニングの入れ方の違い ワンレングス つなぐ位置によるシルエットの違い(耳後ろ、みつえり) ハイレイヤー展示

[令和3年度] 授 業 計 画

教科科目：総合技術		授業方法 実習		学年：2年	
ヘアデザインコース		予 定 時：100 時間		実施時間：	
実務経験者による授業		担当講師：茂木・土屋			
授業内容		デザインカット、カラーリングやパーマネットウェーブ等を学び、より実践的な力を養う。			
到達目標		様々なスタイルをイメージし、形にすることができる。 相モデルの実習を通しお客様の立場になって施術できる力を身につける。			
学期	時数	項目	内 容		
2 学期	100	メンズ	カット		
		(14時間)	カラー		
			パーマ		
		レディース	カット		
		(30時間)	カラー(ブリーチ・マニキュア等)		
			パーマ		
			縮毛矯正 等		
		応用	相モデルカラー 等		
		(44時間)			
		(12時間)	外部講師2回セミナー		

[令和3年度] 授 業 計 画

教科科目：総合技術		授業方法 実習		学年：2年	
ネイルクリエートコース		予 定 時：200 時間		実施時間：	
実務経験者による授業 ○		担当講師：新田			
授業内容		検定試験受験及びコミュニケーションを通し、お客様が満足できる技術の提供			
到達目標		ネイルサロンに於いて最低限必要な検定試験に合格するレベルまで達する。			
学期	時数	項目	内 容		
1 学 期	100	道具の使い方	ファイル、メタルプッシャー、キューティクルニッパーの使用方法の振り返り		
		ネイルケア	ファイル、メタルプッシャー、キューティクルニッパーの安全な使用法		
		ポリッシュ塗布	ベース、カラーポリッシュ、トップコートの仕上がりのレベルアップを図る		
		ファイリング	代表的な爪のカット形状の習得		
		ネイルアート	アクリル絵の具を使用したイラストの作成		
			エンボス、3D技術の習得		
		アーティフィシャルネイル	ハーフチップを使用した人工的な長さ出し(チップラップ)		
			ハーフチップを使用した人工的な長さ出し(チップオーバーレイ)		
			アクリルを使用した人工的な長さ出し		
	ジェルを使用した人工的な長さ出し				
2 学 期	100	ジェルネイル	ジェルオフ		
			ジェルの操作を熟知し仕上がりのレベルアップを図る		
			グラデーション、フレンチの技術習得		
		アーティフィシャルネイル	ジェルを使用した人工的な長さ出し		
			アクリルを使用した人工的な長さ出し		
		ネイルアート	フレンチ、エンボス、3D技術の習得		

[令和3年度] 授 業 計 画

教科科目：総合技術		授業方法 実習		学年：2年	
ブライダルビューティーコース		予 定 時：200 時間		実施時間：	
実務経験者による授業		担当講師：五十嵐 静香			
授業内容		エステ、着付の実習を通し、ブライダルに必要な知識を身に付ける。			
到達目標		エステティックの基礎を学び「フェイシャルエステティシャン」のディプロマ取得を目指す 着付やブライダルの基礎を身に付け、トータルでのスタイル作りをする			
学期	時数	項目	内 容		
1 学 期	100	エステ	エステティック理論		
			フェイシャルクレンジング、ディープクレンジング		
			リンパマッサージ、栄養導入、マスク		
			認定試験		
		アロマ	アロマオイル作成		
		ハンドマッサージ	アロマオイルを使用、パラフィンパック		
		フットマッサージ	アロマオイルを使用、フットバス		
2 学 期	100	着付	浴衣		
			女性、男性袴		
			振袖 帯変わり結び		
		ヘアメイク	和装用、洋装用、ウエディング用		
			トータル制作、写真撮影		
		フラワーアレンジメント	洋装、和装		